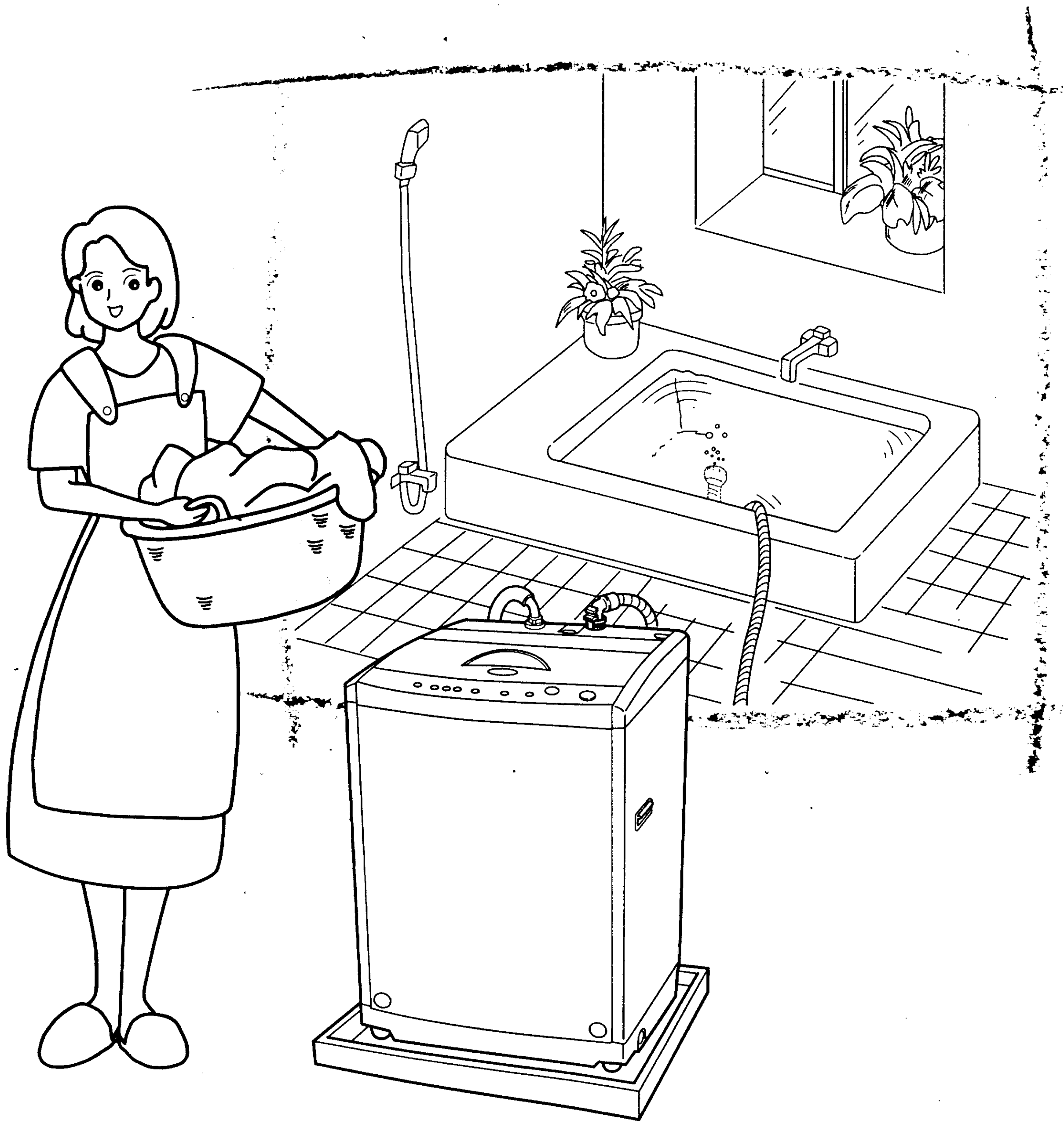
株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-H4075-5
3-G6015-8
H8(N)

取扱説明書

HITACHI

日立 全自動 電気洗濯機
NW-70Z形



お湯取物語
コンパクト7kg
日立全自動電気洗濯機

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート・保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

少量洗いも経済的にお洗濯

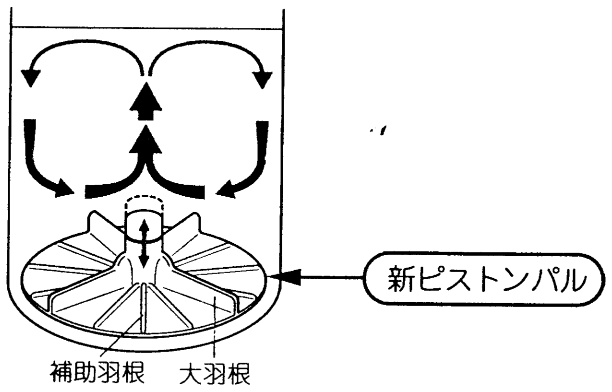
ピタッと水位

500gから7kgまで洗濯物の量にあわせて水位を10段階にきめ細かく自動設定。パジャマ1枚からむだなく洗えます。
（標準コースの場合は、9段階自動設定となります）

布がらみをほぐして上手に洗う

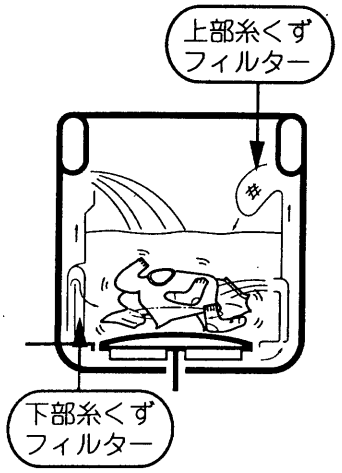
新ピストンパル＆新からまん流

新ピストンパルがつくりだす上下水流（新からまん流）が、洗濯物を押し上げ布がらみをほぐしてキレイに洗います。



上も下もしっかり糸くず捕集

段違い糸くずフィルター



上下2つの糸くずフィルターが効率よく糸くずをキャッチ。低い水位のときも、下部糸くずフィルターがしっかり糸くずを取ります。☞46

お風呂のお湯で上手にお洗濯

お湯取機能

お湯取ボタンをセットすれば、内蔵ポンプで風呂水を自動吸水します。水道代が大幅に節約でき、脂汚れもスッキリ落ちます。
☞14

もくじ

ページ

お洗濯の前に
- 安全上のご注意 ……… 4
- 各部のなまえ ……… 8
- 操作パネルのはたらき ……… 10
- お洗濯を始める前に ……… 12
- 風呂水吸水について ……… 14
- 洗濯量の検知と洗剤量（目安）、水量表示について ……… 15
- 洗濯物の種類と全自動コースの選びかた ……… 16

いつものお洗濯
- 簡単おまかせお洗濯 ……… 18
- 我が家だけの手造りコースで洗う ……… 20

いろいろなお洗濯
- お洗濯キャップの使いかた ……… 22
- ドライマーク表示の衣類を洗う 「ドライ」コース ……… 23
- 掛ふとん・毛布を洗う 「ふとん」コース ……… 26
- すばやく洗う 「おいそぎ」コース ……… 28
- がんこな泥汚れなどを洗う 「念入り」コース ……… 29
- デリケートな衣類を洗う 「ソフト」コース ……… 30
- じっくり洗う 「つけおき」コース ……… 31
- 押し洗いポケットを使ったお洗濯 ……… 32
- 洗濯行程について ……… 34
- お好みで洗濯する ……… 36
- 予約タイマーで洗う ……… 38

洗濯量と洗剤
- 洗濯量と洗剤量について ……… 39
- 液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う ……… 40
- 粉石けん（天然油脂）を使う ……… 41

上手なお洗濯
- 洗濯液を2度使う ……… 42
- 洗濯のりを使う ……… 42
- ブザー（メロディ）音を変えたいときは ……… 43
- いたずら防止スイッチ ……… 43
- ひと工夫した洗いかた ……… 43

お手入れ・アフターサービス
- 使用上のご注意 ……… 44
- お手入れのしかた ……… 45
- 据え付け ……… 52
- 故障かなと思ったら ……… 55
- 保証とアフターサービス ……… 57
- 別売り部品 ……… 58
- 仕様 ……… 59

安全上のご注意

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「強制」内容のものです。

⚠ 警告

絶対に分解したり修理・改造しない

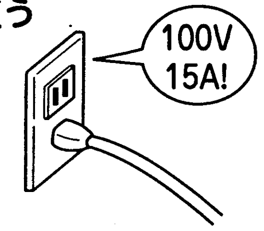
分解禁止

- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は、販売店にご相談ください。

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

電源

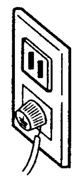
- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



アース線は必ず取り付ける

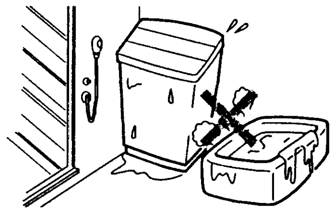
アース接続

- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。



浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

水場禁止



- 感電や漏電による火災の恐れがあります。

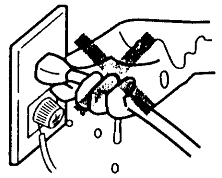
入浴中は風呂水吸水はしない

禁止

- 万一の感電を防ぐためです。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止



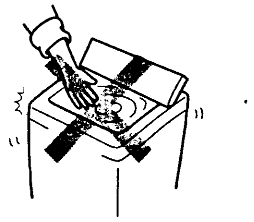
- 感電の原因になります。

⚠ 警告

脱水槽が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物などに手などを触れない

禁止

- ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



(お願い)

脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

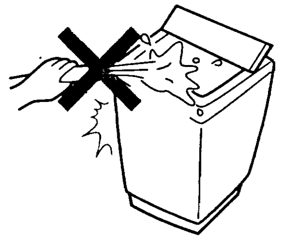
洗い・すすぎ中の洗濯・脱水槽には手を入れない

禁止

- ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。
(槽内に手を入れる場合は、一時停止させて完全に停止してから行ってください)

お手入れするときなどでは、本体各部に直接水をかけない

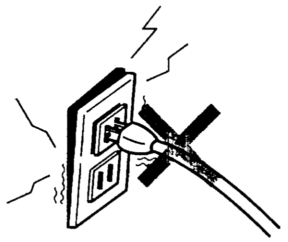
禁止



- ショート・感電の原因になります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

注意

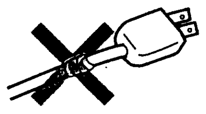


- 感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけない

禁止

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）

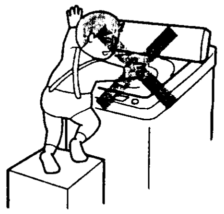


- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

幼児に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
また、洗濯機の近くに台を置くなどしない

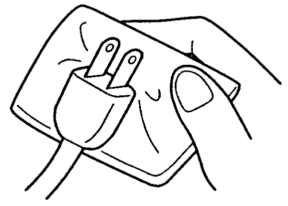
禁止

- 洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをすることがあります。



電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

清掃



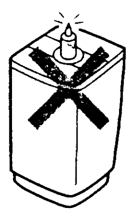
- 火災の原因になります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 警　告

火気禁止

ローソク、蚊取り線香、煙草などの火気を近づけない

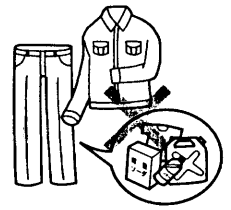


● 火災の恐れがあります。

禁止

引火物は絶対に洗濯槽に入れない近づけない

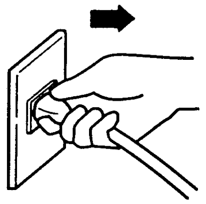
（灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物）



● 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 注　意

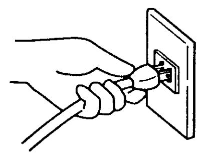
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く



● 感電やけがをすることがあります。

注意

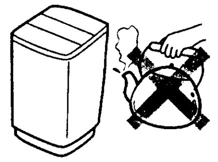
電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く



● 感電やショートして発火することがあります。

禁止

洗濯時に温水を使用する場合、50℃以上のお湯は使用しない

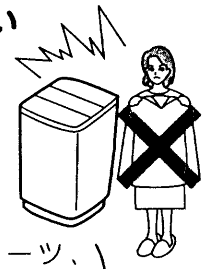


● プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の恐れがあります。

禁止

防水性のシートや衣類は、洗い・すすぎ・脱水をしない

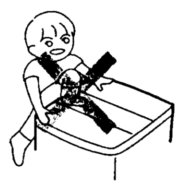
● 洗濯物が飛び出したり、異常振動して、けがをしたり、洗濯物、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。



（寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウェア、自転車・バイク・自動車のカバーなど）

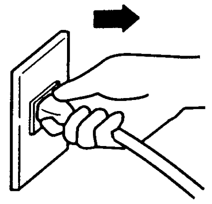
禁止

洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない



● 変形・破損によりけがをする恐れがあります。

長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

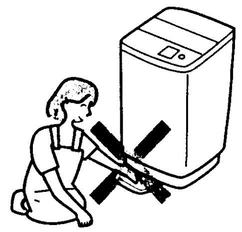


● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

⚠ 注　意

禁止

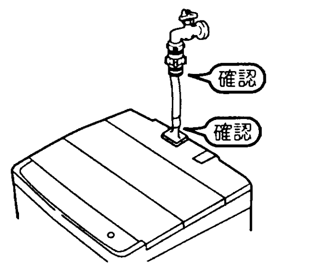
運転中は洗濯機の下に手足などを入れない



● 回転部があり、けがをする恐れがあります。

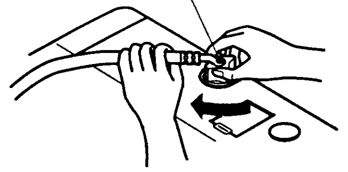
水漏れ

洗濯前は必ず水道栓を開いて水もれがないか確認する



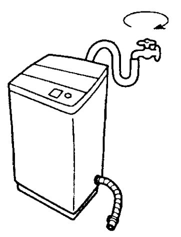
● ねじがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

給水ホースの本体接続のナットはしっかり締めつける



● 水漏れの原因になります。

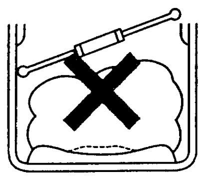
洗濯機を使用しないときは、必ず水栓を閉じておく



● 万一の水漏れを防ぐためです。

禁止

お洗濯キャップ（別売り）は斜めに取り付けない。また、「ふとん」「ドライ」コース以外では絶対に使用しない

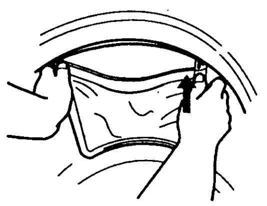


● 水の跳びはねやキャップの飛び出しにによりけがをしたり、本体を破損する恐れがあります。

お洗濯キャップ（別売り）を使用するときは、必ず押し洗いポケット（別売り）を取り外す

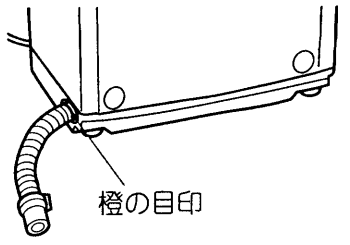
● キャップの飛び出しの原因になります。

押し洗いポケット（別売り）が確実に取り付けてあるか確認する



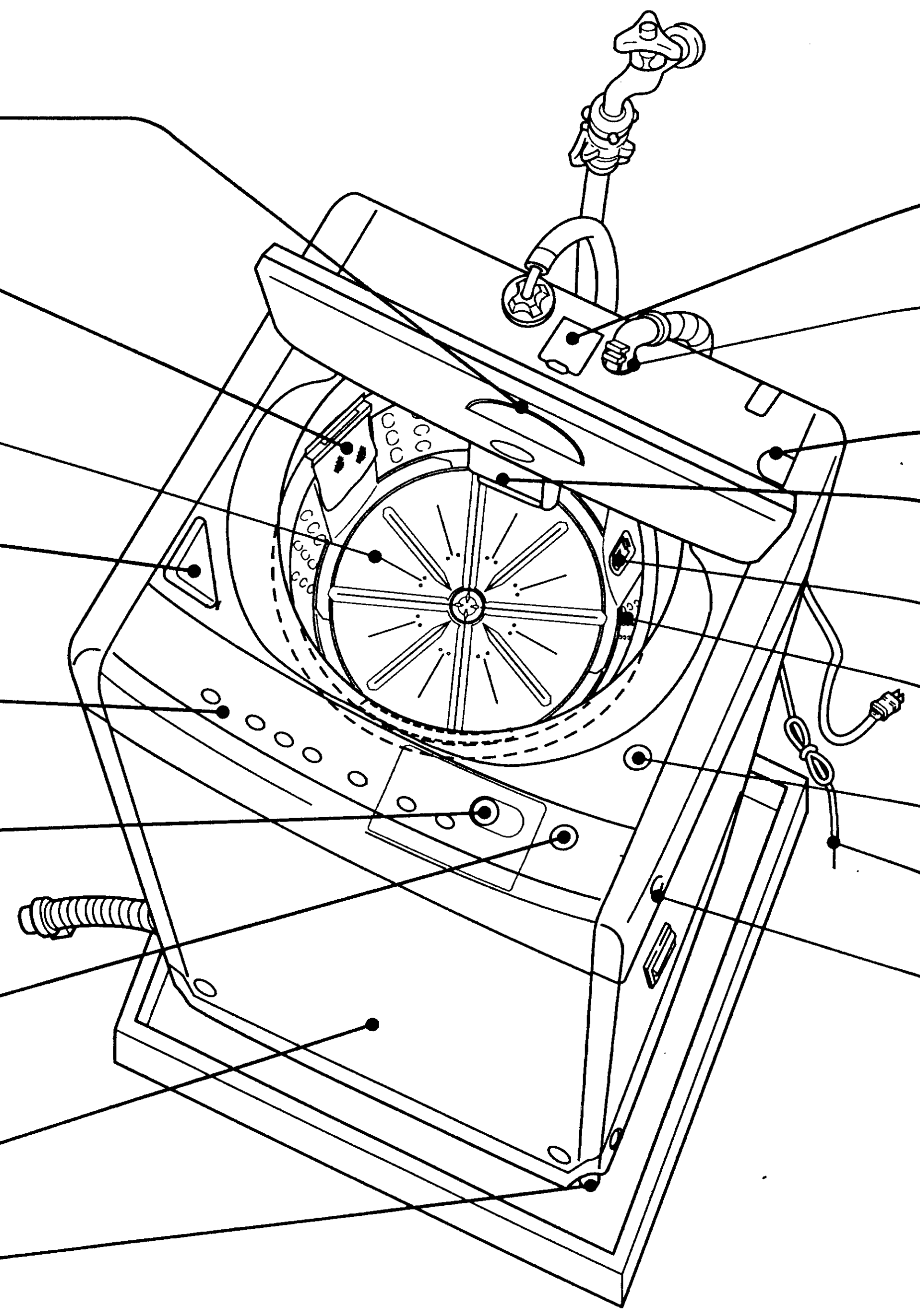
● 取り付けが不十分なままでお洗濯すると、衣類の損傷や押し洗いポケットの破損の原因となります。

洗濯機を据え付けるときは､排水ホースの橙の目印を本体の端に必ず合わせる

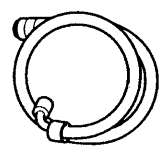
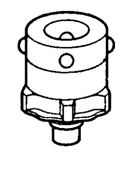
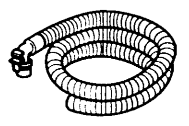
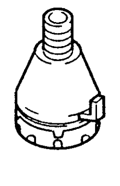
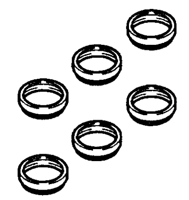
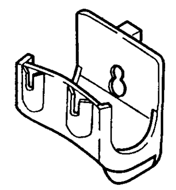


● 内部でたるんでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。

各部のなまえ



付　属　品（「据付説明書」を参照ください）

給水ホース	ワンタッチつぎて	お湯取ホース（吸水ホース）	クリーンフィルター	脚キャップ（高さ調整用）	お湯取ホース掛け ☞54
					
（1本）	（1個）	（1本）（約5ｍ）	（1個）	（6個）	（1個）

操作パネルのはたらき

洗剤量・水量表示

運転スタート後に洗剤量(目安)と水量を表示します。

- 洗剤量は、コンパクトタイプ(濃縮)粉末洗剤を表します。☞ 15、39
- 洗濯量を検知後、約5秒間洗剤量(目安)を表示し、そのあと水量表示に切り換わります。
- 洗いの給水中に「水量」ボタンを押すと、約2秒間、洗剤量(目安)を表示します。
- 洗剤量(目安)を表示しないコースもあります。☞15

洗濯内容表示

ランプの点灯で、洗濯内容をお知らせします。

- 進行中の行程を点滅でお知らせします。数字の表示をしないコースもあります。(「つけおき」コース)

残時間・予約表示

運転スタート後に、残時間を表示します。
予約ボタンを押すと、予約時間(「12～3時間後」終了)を表示します。

コース表示

選んだコースが点灯します。
コースボタンを押すごとにランプの点灯が移動します。
(□部分は、電源を入れたときの点灯の順番が変わる場合があります)

標準→手造り→念入り→おいそぎ→ドライ→ソフト→つけおき→ふとん→(標準)

お湯取表示

ランプの点灯で、風呂水を利用する行程をお知らせします。

水準器

本体を水平に据え付ける目安に使います。
☞ 据付説明書

- 気泡が円(◎)の中に入っていれば脚の調節は必要ありません。

水量・洗い・すすぎ・脱水ボタン

水量、洗い、すすぎ、脱水の内容をお好みで設定するときや、設定内容を変えるときに使います。
☞ 20、36

- スタート後の変更は、一時停止して行ってください。洗いが終わると変更できません。
  (変更ができないコースもあります)
- 洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。
  (「62L」に達すると、それ以上は給水しません)

予約ボタン

予約運転をするときに使います。
☞ 38

- 12～3時間後の各1時間ごとに、洗濯を終了させることができます。

コースボタン

洗濯物や汚れに応じた8種類のコースが選べます。
☞ 16

- 「標準」「手造り」コースはメモリー機能が付いています。

お湯取ボタン

風呂水を利用するときに使います。
☞14

- 「ドライ」コースでは設定できません。
- 前回選んだ内容を記憶します。
  ☞14 の「すすぎ2」は記憶しません。

スタート/一時停止ボタン「これっきりボタン」

スタートや一時停止に使います。

電源スイッチ

スイッチを押すと「入」になります。

- 運転が終わるとブザー(メロディ)が鳴り、電源が自動的に切れます。
  (オートオフ機能)

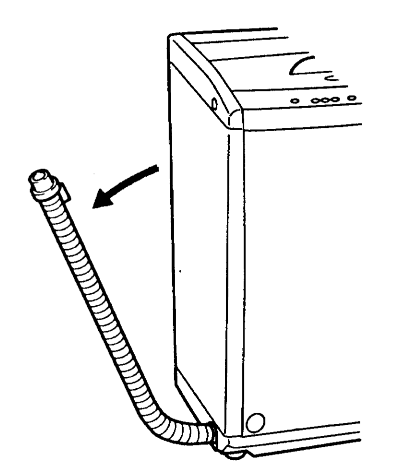
- 水量の「62L」、洗いの「9分」、すすぎの「ため2回」、脱水の「6分」、予約の「12」時間後、コースの「標準」、お湯取の「洗い」を設定したときに2回続けて受け付け音がします。(ランプの基準点をお知らせするためです)

(注意)
- 2つ以上のボタンを同時に押さないでください。
  誤動作することがあります。

お洗濯を始める前に

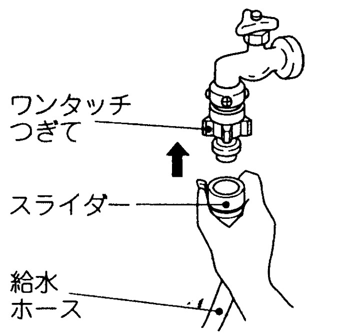
お洗濯の準備

1 排水ホースを倒す



排水ホースの先端を、しっかりと排水口へ入れてください。

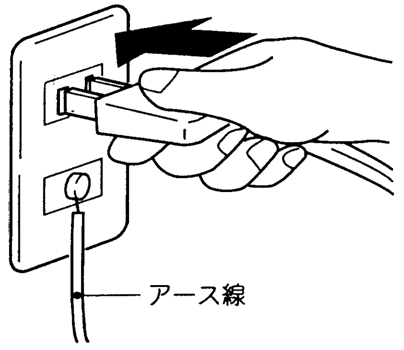
2 給水ホースを接続し、水栓を開く



1 **スライダーを押し下げ、ワンタッチつぎてに差し込む。**

2 **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで、給水ホースを押し上げる。** ☞ 52、53

3 電源プラグをコンセントに差し込む



⚠注　意

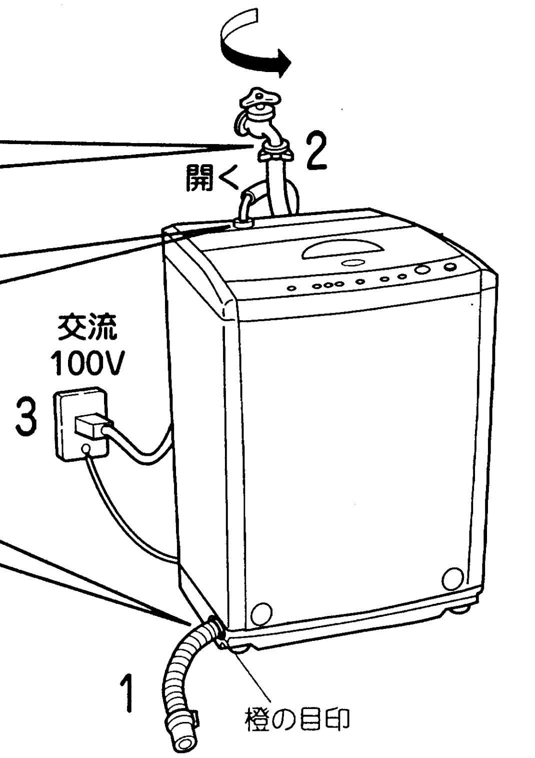
洗濯前は必ず水道栓を開いて、水もれがないか確認する。

水もれ

- ねじがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯機を据え付けるときは、排水ホースの橙の目印を本体の端に必ず合わせる。

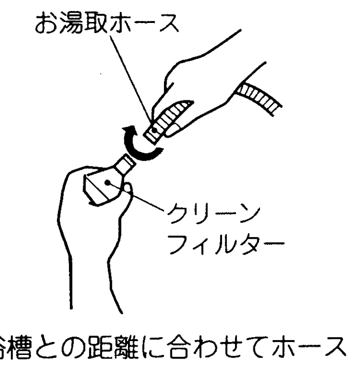
- 内部でたるんでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。



風呂水吸水の準備

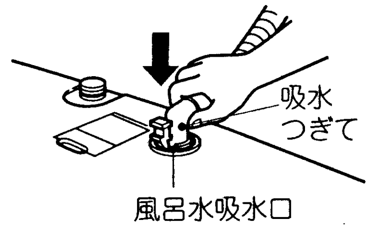
お買い上げになって初めてご使用になるときは、水道水による運転を行ってください。水道水での運転により、風呂水ポンプ内に呼び水給水するためです。(呼び水とは、風呂水ポンプが吸い上げ運転をするために必要な一定量の水です)

1 お湯取ホースを準備する ☞ 据付説明書



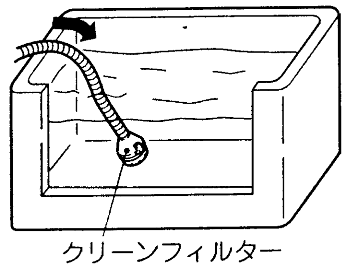
- 浴槽との距離に合わせてホースを切断してご使用ください。
- 一度取り付けたクリーンフィルターは、手で簡単に外せません。外しかたは据付説明書をご覧ください。

2 吸水つぎてを「風呂水吸水口」に差し込む

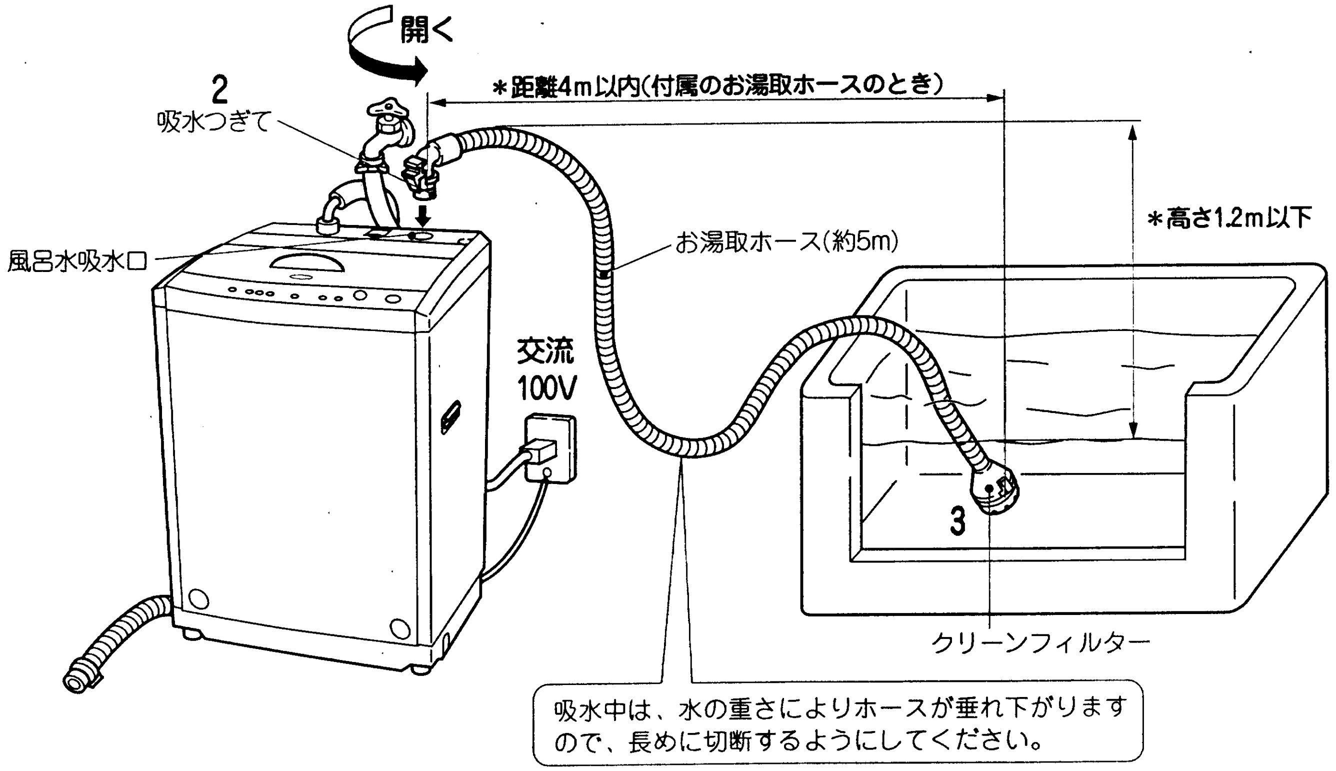


- お湯取ホースの吸水つぎては、フックが外れないように確実に取り付けてください。 ☞ 54

3 お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽の中に沈める



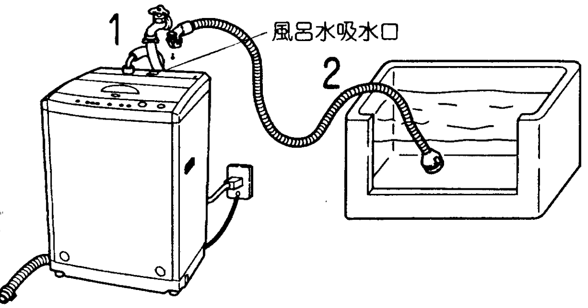
- クリーンフィルターが水面から浮き上がらないようにしてください。



＊上記の図の範囲内でご使用ください。この範囲を超えると、吸水できない場合があります。付属のお湯取ホース(約5m)で据え付けできないときには、別売りの7mホース(別売り部品 ☞ 58) をご利用ください。(この場合に吸水できる範囲は距離6m以内、高さ1.2m以下です)

風呂水吸水について

お湯取ボタンをセットし、スタートしたとき



1 **水道水を約15秒間給水する。**
- 風呂水ポンプへの呼び水と水栓の開け忘れを確認します。
- 水道水圧が低いと呼び水できない場合があります。コップなどで風呂水吸水口に約180ccの水を入れてください。

2 **風呂水ポンプが風呂水を吸い上げる。**
- 風呂水ポンプが運転を始めてから風呂水を吸い上げるのに約1～3分間かかります。（お湯取ホース内の空気を抜くためです）
- 吸水中に風呂水ポンプを停止し、水道水を給水する場合があります。（自吸性能を向上させるためです）

お湯取ボタンの設定と風呂水吸水について （すすぎ2の設定は記憶しません）

全自動コース	お湯取の設定	洗い	すすぎ1	すすぎ2
標準 手造り 念入り おいそぎ* ソフト* つけおき ふとん	洗い（点灯） すすぎ1 お湯取	風呂水	水道水	水道水
	洗い（点灯） すすぎ1（点灯） お湯取	風呂水	風呂水	水道水
	** 洗い（点灯） すすぎ1（点滅） お湯取（3秒以上押す）	風呂水	風呂水	風呂水
ドライ	お湯取ボタンは選べません	水道水	水道水	水道水

*「おいそぎ」、「ソフト」コースのすすぎの初期設定は、すすぎ1のみです。
**この設定を解除する場合は、一度電源スイッチを「切」にしてください。
- 注水すすぎの場合は、規定水位まで風呂水吸水後、水道水を注水します。

■**次の場合、給水は自動的に水道水になります。**
① お湯取ホース異常（「E6」表示点滅）が発生した場合。
② 洗いの給水行程で、風呂水吸水エラー（「EP」表示点滅）が発生した場合。

エラー表示	症 状	原 因
E6	吸水開始後10分たっても規定水位に達しないとき	● お湯取ホースのフィルターや風呂水吸水口のポンプフィルターが目詰まりしたとき ● お湯取ホースに余分なたるみなどの抵抗となる個所があるとき など
EP	風呂水ポンプが3分間連続で空運転したとき	● お湯取ホースのクリーンフィルターが浴槽に入っていないとき ● 吸水途中で浴槽の水が無くなったとき ● お湯取ホースがセットされていないとき ● お湯取ホースに亀裂・ひび割れがあるとき など

- 水道水給水中に一時停止し、エラーの原因を取り除いてスタートボタンを押すと、再度風呂水ポンプ運転になります。（点検のしかたは ☞ 55）
- エラー表示は、そのコースの運転が終わるまで表示しています。
- エラー表示中に、一時停止→再スタートすると、表示は消え、残時間表示になります。

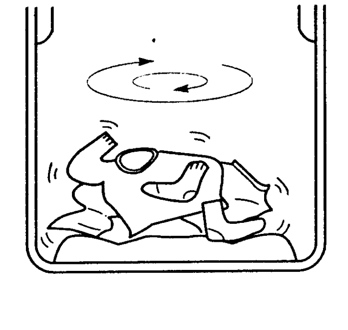
洗濯量の検知と洗剤量（目安）、水量表示について

洗濯量の検知について

センサーが洗濯物の量を検知して洗剤量（目安）と水量を表示します。

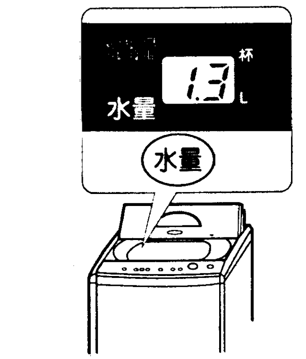
1 洗濯物を入れ、電源スイッチを入れてスタートボタンを押す

2 かくはん翼が約4秒間回転



- 水のない状態で、洗濯量をはかります。（布いたみの心配はありません）

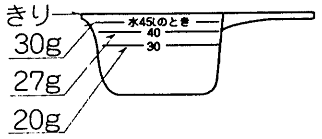
3 洗剤量（目安）と水量を表示



- 約5秒間、洗剤量（目安）を表示後、水量表示に切り換わります。

洗剤量（目安）表示と投入量について

洗剤量（目安）表示は、コンパクトタイプ粉末洗剤（水30Lに対し20gあるいは15gタイプの洗剤）の計量スプーンでの投入量を表しています。
- 洗剤量（目安）表示は、洗剤に同梱されているスプーンを基準にしています。（洗剤メーカーや銘柄によって計量スプーンの大きさが異なるものがあります）
- 以下の説明は、スプーンすりきり一杯で約35gのものを基準にしています。その他の洗剤の場合は、☞ 39をご覧ください。
- 洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になったり、泡による弊害が起こる場合があります。
- 詳しくは洗剤の表示に従ってください。
- 「ドライ」、「ソフト」、「ふとん」コースは、洗剤量（目安）を表示しません。

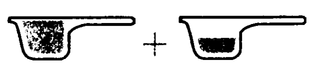


水量表示について

洗濯量に応じて水量を自動表示します。（洗濯量と洗剤量は ☞ 39、自動設定水量は ☞ 34）
〈例〉 水量「62L」、洗剤量「1.4杯」の場合

水量表示
洗剤量 杯
水量 62 L

洗剤量（目安）表示
洗剤量 杯
水量 1.4 L

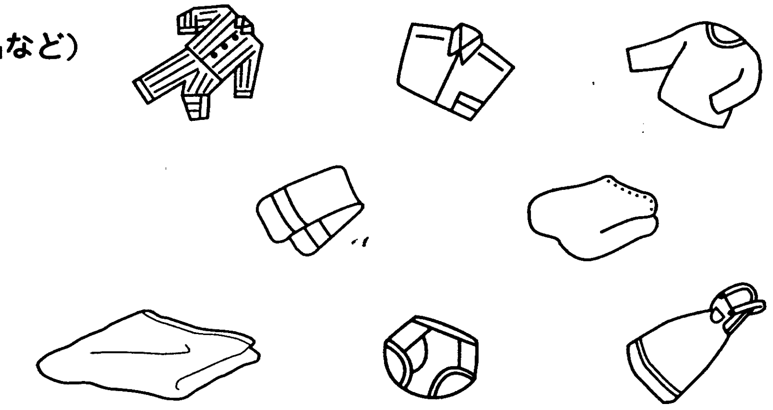
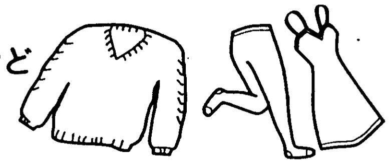
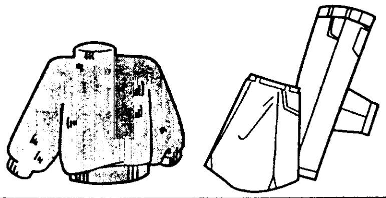
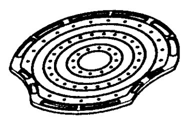
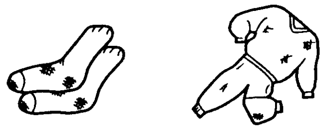
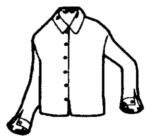
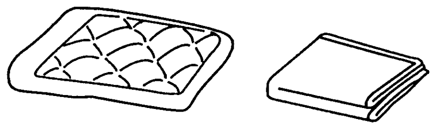
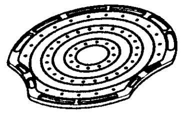


約49gを入れてください。

- 水量表示中に水量ボタンを押すと約2秒間洗剤量（目安）を表示します。（洗い給水中のみ表示し、それ以外のときは受け付けません）
- 標準コースは、水を節約するため、自動センシングの場合、最高水位の水量を59Lとしています。

洗濯物の種類と全自動コースの選びかた

この洗濯機には８種類の全自動コースがあります。
洗濯物の種類に適した全自動コースや洗剤の種類を選んで、上手なお洗濯をしましょう。

洗濯物の種類	お勧めの全自動コース			お勧めの洗剤
一般の衣類（綿、合成繊維、混紡製品など） 	標準	洗濯物に適した内容で自動的に洗います。	☞18	合成洗剤（粉末、液体）
	手造り	我が家に合った洗濯内容を記憶して洗います。	☞20	
	おいそぎ	軽い汚れを手早く洗います。	☞28	
手洗イ表示のある毛100%の製品、毛混紡のニット製品など ランジェリーなどのデリケートな衣類 	ソフト	手洗い水流でやさしく洗います。	☞30	液体中性洗剤
ドライ、ドライ 手洗イ表示の衣類 ☞23 	ドライ	回転水流でやさしく洗います。（別売りのお洗濯キャップ「MO-F85」を使います） 	☞23	ドライマーク衣類専用洗剤 液体中性洗剤
汚れのひどい衣類：くつ下、スポーツウェアなどのどろ汚れ 	念入り	強めの水流、長めの時間でしっかり洗います。	☞29	合成洗剤（粉末、液体）
汚れのひどい衣類：えり、そでなどのがんこな脂汚れ 	つけおき	洗剤に含まれる酵素成分を活性化させ、傷めず、きれいに洗います。	☞31	
大物衣類（ふとん、毛布類） 	ふとん	ふとん水流でやさしく洗います。（別売りのお洗濯キャップ「MO-F85」を使います） 	☞26	液体洗剤

●洗剤の使用量については☞39
●液体洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を使う場合は☞40
●粉石けんを使う場合は☞41

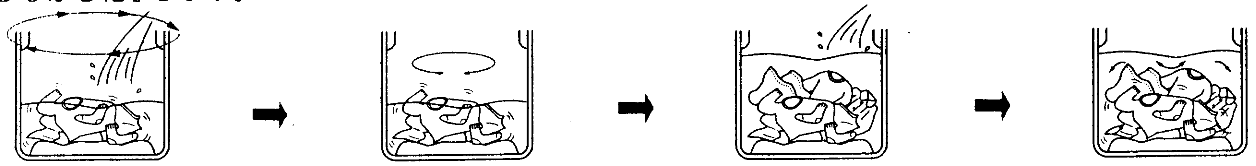
●「標準」「手造り」コースは、メモリー機能が付いており、電源を入れると前回行ったコースが表示されます。
「手造り」コースは内容までも記憶されます。
●「お湯取」は前回選んだ内容を記憶します。

簡単おまかせお洗濯(「標準」コース)

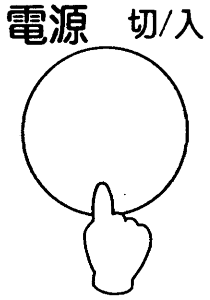
センサーが洗濯物の質や量を検知して、洗濯物に適した内容で自動的に洗濯します。(コースの内容は ☞ 34)
「標準」コースでは水を節約するために下記のようにすすぎの内容を工夫しています。

ふたを閉めたあとは 洗濯内容を決めるため、次の動作を行います。

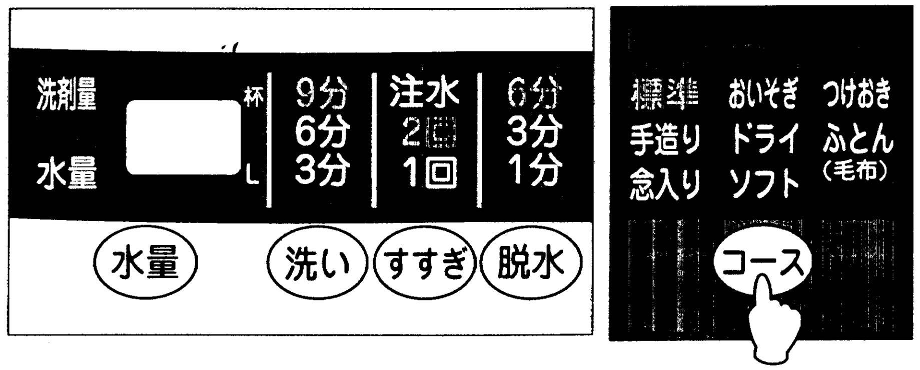
洗濯物に水と洗剤をしみこませるため、槽がゆっくり回転しながら給水します。	低い水位で約30秒間、かくはん翼が回転します。	規定水位まで給水します。(洗濯量が多い場合は、かくはんしながら給水します。)	洗濯物の質を感知し洗濯内容を決めて洗いを始めます。



1 電源スイッチを入れる

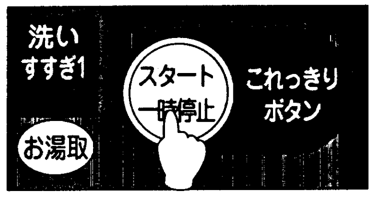


2 「標準」コースを選ぶ



3 スタートボタンを押す

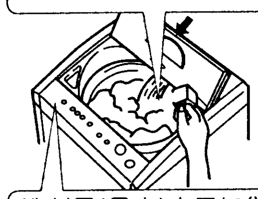
風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)



- 約4秒間、かくはん翼が回転して洗濯量を感知し、洗剤量と水量を表示後、給水します。

4 洗剤を入れふたを閉める

洗剤をよく溶かすために洗剤は、給水の水が落ちる所に入れます。

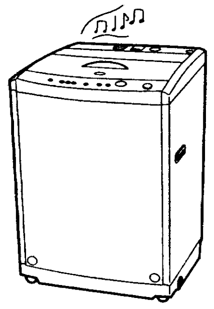


洗剤量(目安)表示に従って洗剤を入れます。 ☞ 15

- 液体洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を使うときは ☞ 40
- 粉石けん(天然油脂)を使うときは ☞ 41
- ふたが開いていると、センサーが正しく感知できません。また、脱水も行われません。

洗濯終了

ブザー(メロディ)の音で洗濯終了をお知らせします。 ☞ 43

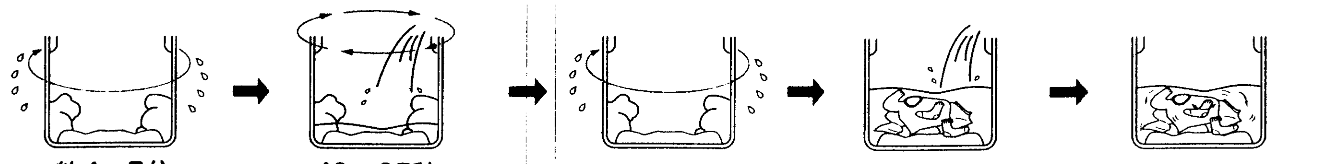


- ブザー(メロディ)が鳴り終わったら電源スイッチが自動的に切れます。(オートオフ機能)

「標準」コースのすすぎの動作 ☞ 34

[illegible]すぎ動作

1回目のすすぎ (回転シャワーすすぎ)		2回目のすすぎ (ためすすぎ)		
排水して脱水します。	槽をゆっくり回転させながら給水します。	排水して脱水します。	規定水位まで給水します。	かくはんします。(ためすすぎ)



- 1回目のすすぎに風呂水を利用するときはためすすぎになります

「標準」コースのお洗濯について

標準コースは、水を節約するために自動センシングの場合、最高水位の水量を59Lとしています。
水位が低いと感じる場合は水量ボタンを押して水位を変えるか、念入りコースのご使用をおすすめします。

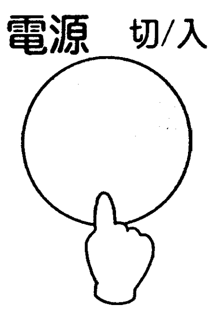
我が家だけの手造りコースで洗う（「手造り」コース）

しわが気になる衣類のための「洗い・すすぎ」コースなど、いろいろな洗濯内容が造れます。
我が家だけの手造りコースとして記憶され、次回からは調整なしで、スタートボタンで一発スタートできます。（コースの内容は☞34）

ちょっと一言

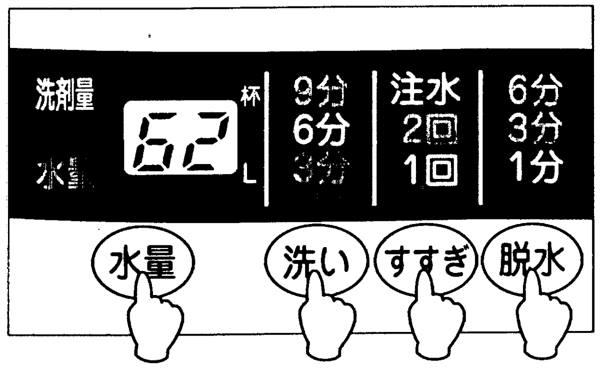
記憶した運転内容を変更したいときは、いったん電源スイッチを切り、1～4の操作を行ってください。（初期設定に戻したい場合は、設定を3のようにしてスタートさせてください）

1 電源スイッチを入れる



2 「手造り」コースを選ぶ

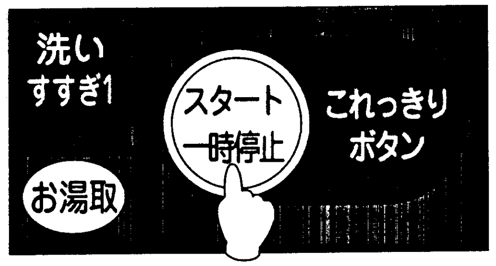
3 お好みの内容を選ぶ



- 初めは、水量「62L」、洗い「12分」、ためすすぎ「2回」、脱水「9分」がセットされています。

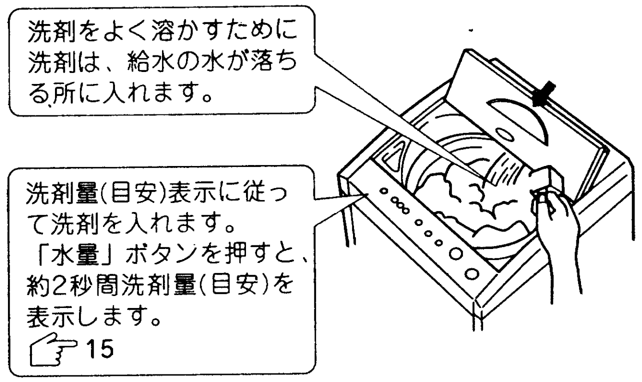
4 スタートボタンを押す

風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。（お湯取の設定は次回へ記憶されます）



- 洗濯内容が記憶され、次回から「手造り」コースはこの内容で運転します。

5 洗剤を入れ、ふたを閉める



- ふたが開いていると、センサーが正しく感知できません。また脱水も行われません。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

水量、洗い、すすぎ、脱水ボタンの使いかた（ボタンを押すごとに設定がかわります）

水量	洗い	すすぎ	脱水
62L → 59L → 56L → 53L → 50L → 46L → 41L → 36L → 30L → 24L →（62Lへ戻る）	15分 ひどい汚れ →（6分と9分が点灯します）12分 →（3分と9分が点灯します）9分 → 6分 → 3分 → 設定なし（「洗い」なし）→（15分へ戻る）	2回 → 注水2回 → 1回 → 注水1回 → 設定なし（「すすぎ」なし）→（2回へ戻る）	9分 →（3分と6分が点灯します）6分 → 3分 → 1分 → 設定なし（「脱水」なし）→（9分へ戻る）

- すすぎで「注水」の表示は「注水すすぎ」、表示なしは「ためすすぎ」になります。
- ［点線枠］は工場出荷時の設定(初期設定)を表わします。

〈コースの手造り例〉

こんなときに	コース	ボタン操作
●しわが気になる衣類を脱水しないとき ●すすぎ液を次の洗いに使うとき	洗い → すすぎ（脱水停止）	9分 洗い ➡ 2回 すすぎ すすぎ液は残ったまま停止します。 ●排水するときは☞36
●我が家だけの特別な洗いかたで洗濯するとき	洗い→すすぎ→脱水	15分 洗い ➡ 注水2回 すすぎ ➡ 9分 脱水

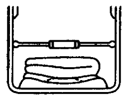
お洗濯キャップの使いかた

お洗濯キャップ(MO-F85)は別売り部品です。
「ドライ」コース、「ふとん」コースを利用する場合は、必ずお洗濯キャップをご使用ください。
お洗濯キャップを使用せずにお洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体を破損する恐れがあります。

使用するコースとお洗濯キャップのセット位置

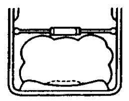
「ドライ」コース

ドライマークの表示の衣類などを洗います。☞24



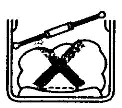
「ふとん」コース

掛ふとん・毛布などを洗います。☞26



⚠ 注 意

禁止 **お洗濯キャップは図の状態では使用しない。**
- 水の跳びはねやキャップの飛び出しによりけがをしたり、本体を破損する恐れがあります。

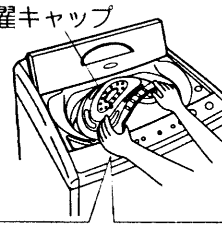


禁止 **お洗濯キャップは「ふとん」「ドライ」コース以外では使用しない。**
- 水の跳びはねやキャップの飛び出しによりけがをしたり、本体を破損する恐れがあります。

お洗濯キャップを使用するときは、必ず押し洗いポケット(別売り)を取り外す。
- キャップの飛び出しの原因になります。

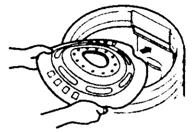
お洗濯キャップの取り付けかた

1 **お洗濯キャップの文字面を上にして、図のように曲げ、奥側を先に槽に入れる。**

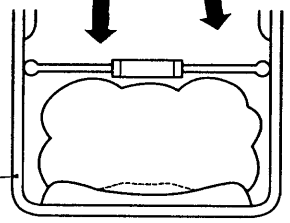


お洗濯キャップの凹部と洗濯槽の凸部を合わせてからセットしてください。

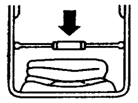
正しくセットされていないと、お洗濯キャップの飛び出しにより思わぬ被害を招く恐れがあります。



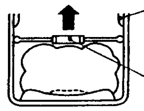
2 **①キャップ手前部を押して、全体を槽の中に入れる。**
②キャップ全体を強く下側に押し、水平にする。



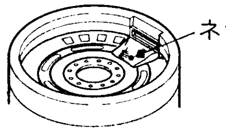
3 〈「ドライ」コースの場合〉
お洗濯キャップをセット位置まで押し下げる。☞24



〈「ふとん」コースの場合〉
お洗濯キャップの中央リング部を持って、洗濯物をはさみ込まないように軽く引き上げる。☞26



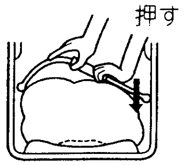
- 上部糸くずフィルターのネット部を、図のようにキャップの上に出してください。



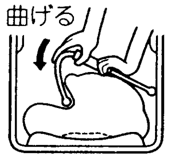
(ご注意) ● 洗濯物を傷めることがありますので、キャップ取り付け時には、洗濯物をはさみ込まないでください。

お洗濯キャップの取り外しかた

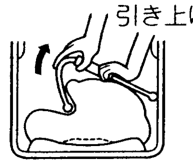
1 **キャップの手前側を押し下げる。**



2 **中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる。**



3 **そのまま手前に引くように、持ち上げる。**



- お洗濯キャップ保管時には変形しないようご注意ください。☞54
- お洗濯キャップは消耗品ですので、破損した場合はお近くの販売店でお買い求めください。☞58

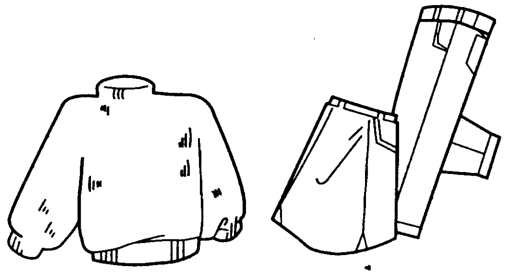
ドライマーク表示の衣類を洗う（「ドライ」コース）

ドライマーク(ドライ)、(手洗イ)(ドライ)表示の衣類をかくはん翼を回さず、洗濯槽を回す回転水流でやさしく洗い上げます。ただし、素材によっては洗えないものもありますので、お洗濯の前に確認してください。(コースの内容は☞34)

■洗えるもの、洗えないものの確認

洗えるもの

- セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミヤなど)
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
- 学生服、セーラー服



洗えないもの

- 皮革製品、皮革装飾品
- 装飾物(羽、毛皮など)のついた衣料
- レーヨン、キュプラおよびその混紡品
- 色落ちしやすいもの
- 和服、和装小物
- ネクタイ、スーツ、コート
- コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使用したもの)、エンボス加工(凹凸模様)をしたもの
- 絹、ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの(特に織り柄)
- ベルベット、コール天などのパイル地

ご注意
- 取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをお勧めします。

ご注意
- 上記以外のものは、洗剤の説明書に従ってください。

■色落ちの確認

- スカーフおよび外国製の衣類は色落ちしやすいので十分ご注意ください。
- 色落ちしそうなものは、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。
(白いタオルなどに洗剤液を含ませ、目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないかを確認してください)
色落ちがあった場合はお洗濯しないでください。

ご注意

ドライマークの衣類をお洗濯するとき

お湯や風呂の残り湯は使用しない。
- 乾燥後の縮みが大きくなったり、風呂の残り湯に入浴剤が入ってると、入浴剤の色素で洗濯物が染まる恐れがあります。必ず水を使用してください。

洗剤は適正な量を使用する。
- 指定より多めに洗剤を使用しても汚れ落ちにはあまり差はありません。逆にすすぎが不十分になり、衣類を傷める原因になります。

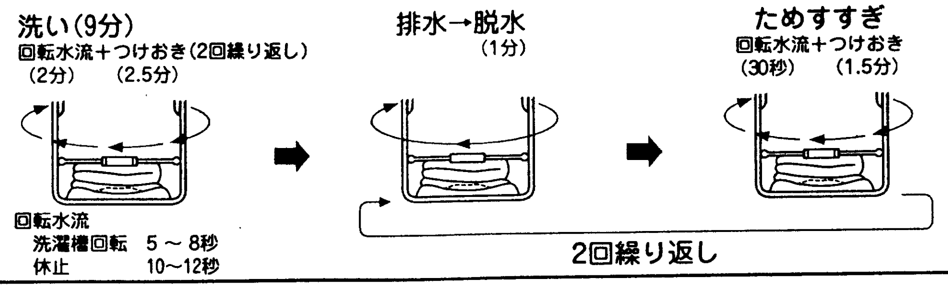
漂白剤は使わない。
- 漂白剤は強アルカリ性なので生地を傷めます。

ドライマーク表示の衣類を洗う（続き）

ご使用前に☞23を必ずお読みください。

- 別売りのお洗濯キャップMO-F85（☞58）を必ずご使用ください。
  また、必ず押し洗いポケット（別売り）を取り外してください。☞51
- 「ドライ」コースの予約運転はできません。（コースの内容は☞34）

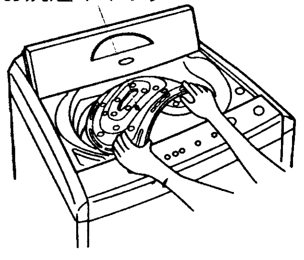
「ドライ」コースの運転内容



準備（前処理）

- シミやひどい汚れがある場合は、前もって汚れを落としておきます。
- ボタンやししゅうがついている衣類は、裏返しして洗います。
- 縮みが大きくなった場合、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

1 洗濯物を入れお洗濯キャップをセットする

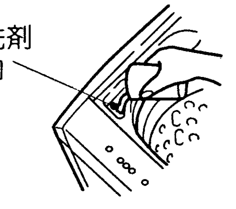


- **洗濯物は洗濯槽いっぱいに均一に広がるように、きちんとたたんでから入れて、お洗濯キャップで押さえてください。**
  ＊脱水時の片寄りと、形くずれを防ぐためです。
- お洗濯キャップなしでは、洗わないでください。
- 洗える量は、1.5kg以下です。

2 電源スイッチを入れ、「ドライ」コースを選ぶ

- 水量は、自動的に「30L」になります。必要に応じて、「41L」から「24L」の範囲で切り換えられます。
  （水量ボタン以外は受け付けません）
- 洗濯物が水にひたる水位が適当です。

3 洗剤を入れる



- （ドライ）表示の衣類を洗うときは、ドライマーク衣類専用の洗剤（液体）をお使いください。
  （手洗イ）表示のあるものは、中性洗剤（液体）も使えます。
- 使用量などは洗剤の説明書に従ってください。
- 液体洗剤を水でうすめて、液体洗剤注入口から静かに入れてください。☞40
- 粉末洗剤は溶けにくいので、使用しないでください。

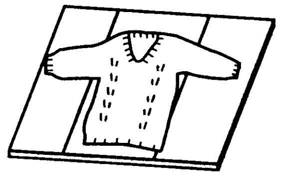
4 ふたを閉めてスタートボタンを押す

- ふたは必ず閉めてください。
  （ふたを開けると洗濯槽の回転が止まり、「E 3」表示が点滅します）
- 「お湯取」ボタンは、受け付けません。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

5 洗濯が終わったら

- ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
- 風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

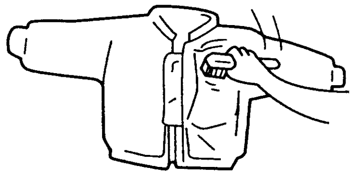


- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

いろいろな洗濯

■お洗濯のポイント

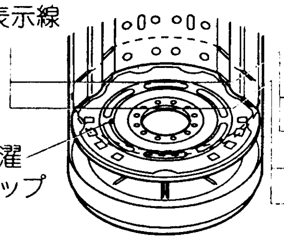
- 裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とします。



- そで口、えり、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

■お洗濯キャップのセット位置

- お洗濯キャップをセットする位置（高さ）は、洗うものの種類、大きさ、厚みに応じて、洗濯物を軽く押さえる高さにセットしてください。
- 洗濯槽にセット位置の目安を表示していますので、参考にしてください。

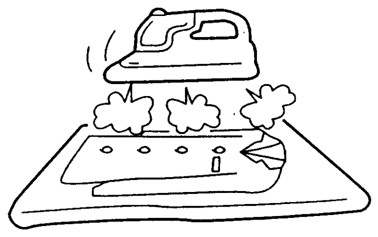


使用する水位	洗える量
41L	1.5kgまで
36L	1.2kgまで
30L	0.8kgまで
24L	0.5kgまで

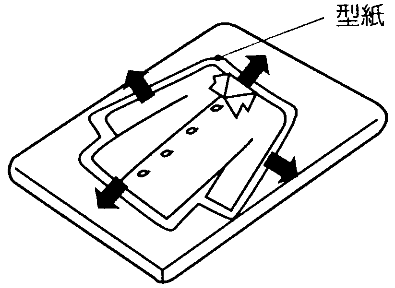
- ブラウスなど薄手のものを洗う場合は、タオルなどを入れて、洗濯物の高さを調整し、脱水時に片寄らないようにしてください。

■仕上げ（縮み、形くずれの直しかた）

スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

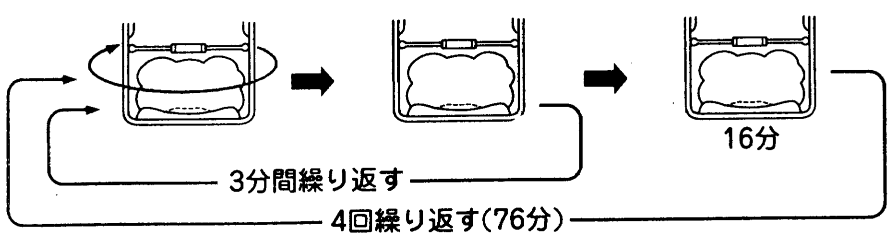


掛ふとん・毛布を洗う(「ふとん」コース)

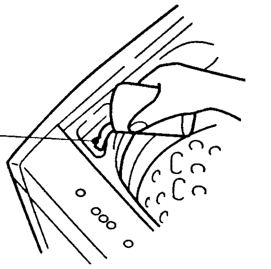
洗濯槽が回転する「ふとん水流」と「つけおき」でふとんに無理な力を加えないで、掛ふとんや毛布をやさしくていねいに洗い上げます。

- 別売りのお洗濯キャップMO-F85(☞58)を必ずご使用ください。
  また、必ず押し洗いポケット(別売り)を取り外してください。☞51
- 「ふとん」コースの予約運転はできません。(コースの内容は☞ 34)

「ふとん」コースの洗い運転



1 電源スイッチを入れ 洗剤を入れる

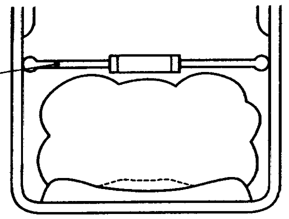


液体洗剤(濃縮タイプの場合63mL、一般タイプの場合100mL)を水で2倍にうすめてご使用ください。 ☞40

- 水量は自動的に「62L」になります。
- 粉末洗剤は溶けにくいので、使用しないでください。
- 羽毛の掛ふとんを洗う場合は、液体中性洗剤をご使用ください。
- ソフト仕上剤を使うと、全体がふっくらと仕上がります。

2 掛ふとんまたは毛布を入れ お洗濯キャップをセットする

掛ふとんまたは毛布を洗濯槽に入れ、お洗濯キャップをセットします。 ☞22



- 掛ふとんのえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤などで汚れを落としてください。
- 必ずお洗濯キャップをご使用ください。
  洗濯物の飛び出しによる衣類や洗濯機の損傷を防ぐためです。

3 「ふとん」コースを選び スタートボタンを押す

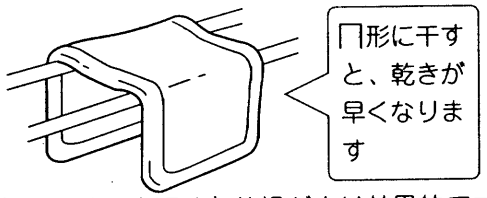
風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)

- 「洗い」、「すすぎ」の内容は表示されません。(行程内容☞ 34)
- 残時間は99分になってから表示されます。
- ふたは必ず閉めてください。(ふたを開けると洗濯槽の回転が止まり、「E3」表示が点滅します)
- 洗濯中に掛ふとんや毛布に水がしみとおらないときは、下に押し込んでください。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

4 洗濯が終わったら

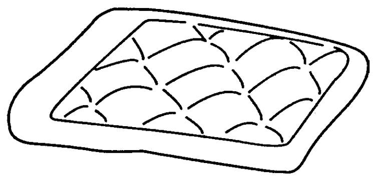
風通しのよいところで自然乾燥させます。
(掛ふとんの場合は、晴天の日で約4時間かかります)



- 掛ふとんは時々裏返すと乾燥がより効果的です。また時々中わたをつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
- 羽毛の掛ふとんは、中わたの片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
  (羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
- 毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

■洗濯できる掛ふとん

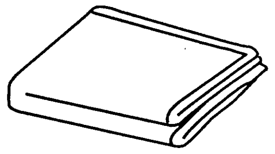
- 中わた材質が化せん(ポリエステル)の掛ふとん
  (幅155cm×215cm 中わた質量1.8kg以下のもの)
- 中わた材質が羽毛の掛ふとんで 、手洗イ 表示のあるもの
  (例:肌掛ふとん 中わた質量0.5kgなど)



- 中わた材質が羊毛のものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。

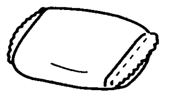
■洗濯できる毛布

- 手洗イ と表示されている毛布。
- アクリル、またはポリエステルのダブルサイズのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布(幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.7kg以下)
- 電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。



■その他洗濯できるもの

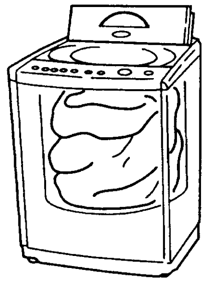
- 手洗イ 表示のベッドパット
- 手洗イ 表示のまくら、クッション(中わたが化せん(ポリエステル)のもの)



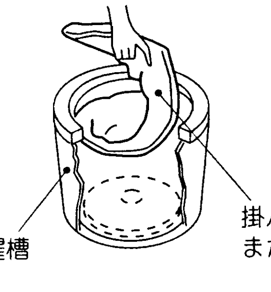
掛ふとん・毛布の入れかた

1 掛ふとんの角から、洗濯槽に少しずつ入れます。

2 掛ふとんは中わたの空気を追い出すように、少しずつ入れます。



■取り出しかた



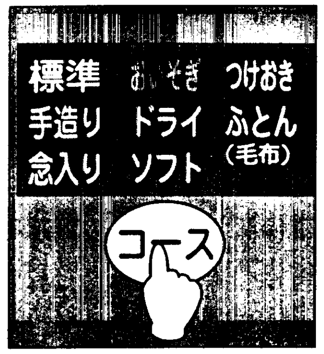
- 入れたときと逆に少しずつ引き上げます。

いろいろな洗濯

すばやく洗う(「おいそぎ」コース)

汚れの軽い洗濯物や、少ない量の洗濯物を手早く短時間で洗います。
(コースの内容は ☞ 34)

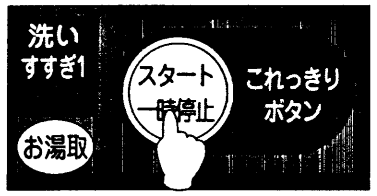
1 電源スイッチを入れ「おいそぎ」コースを選ぶ



● 水量は自動的に「56L」になります。(洗濯量約4kg)

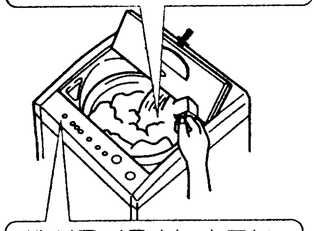
2 スタートボタンを押す

風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)



3 洗剤を入れふたを閉める

洗剤をよく溶かすために洗剤は、給水の水が落ちる所に入れます。



洗剤量(目安)表示に従って洗剤を入れます。「水量」ボタンを押すと、約2秒間洗剤量(目安)を表示します。☞ 15

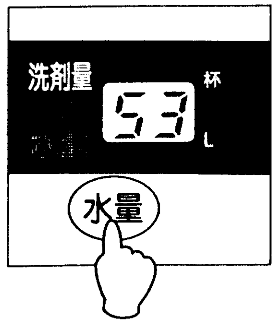
● ふたが開いていると、脱水が行われません。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

■お洗濯のポイント

● 軽い汚れの場合、洗剤量は通常の半分程度(5～6割)が適当です。
(洗剤量については ☞ 39)

● 洗濯量に応じて水量を切り換えてください。
(洗濯量の目安については ☞ 39)



がんこな泥汚れなどを洗う(「念入り」コース)

スポーツウェア、くつ下など汚れのひどい衣類は「念入り」コースを利用すれば、強めの水流、長めの時間でしっかり洗います。(コースの内容は ☞ 34)

⚠ 注 意

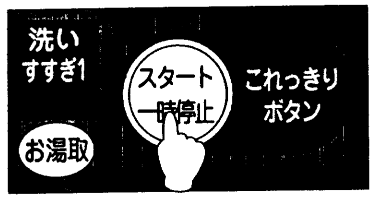
「念入り」コースでお洗濯するとき、傷みの気になる衣類は洗わない。
● 衣類を傷める恐れがあります。

1 電源スイッチを入れ「念入り」コースを選ぶ

● 水量は洗濯量に応じて自動的に設定されます。

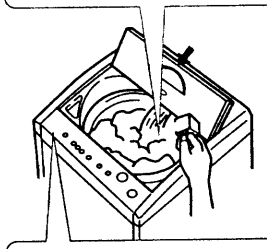
2 スタートボタンを押す

風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)



3 洗剤を入れふたを閉める

洗剤をよく溶かすために洗剤は、給水の水が落ちる所に入れます。



洗剤量(目安)表示に従って洗剤を入れます。☞ 15

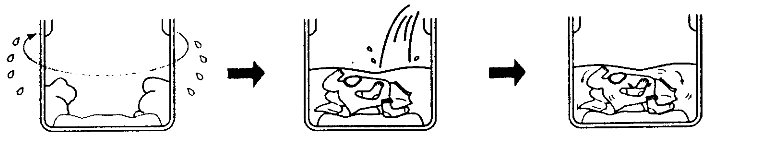
● ふたが開いていると、脱水が行われません。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

「念入り」コースのすすぎの動作 ☞ 32

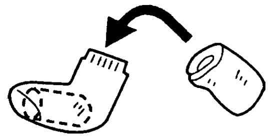
1・2回目のすすぎ
(ためすすぎ)

排水して脱水します。	規定水位まで給水します。	かくはんします。(ためすすぎ)



くつ下の[illegible]な汚れを[illegible]に洗うとき

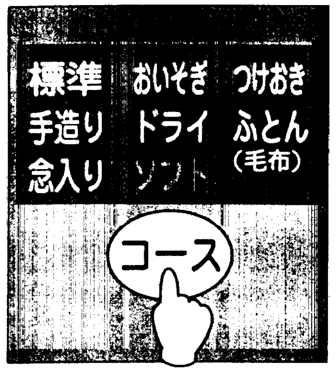
水量を「24L」に設定し、浴用タオルなどを中につめ、足が入ったように膨らませて洗うとよりきれいに仕上がります。
● 汚れた部分をかくはん翼に当てるためです。



デリケートな衣類を洗う(「ソフト」コース)

手洗イ 表示のある毛100%の製品、毛混紡のニット製品、ランジェリーなどのデリケートな衣類も、「手洗い水流」でやさしく洗います。
(コースの内容は☞34)

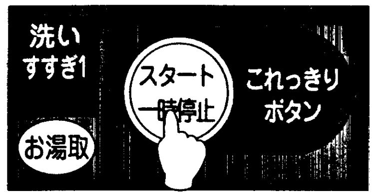
1 電源スイッチを入れ「ソフト」コースを選ぶ



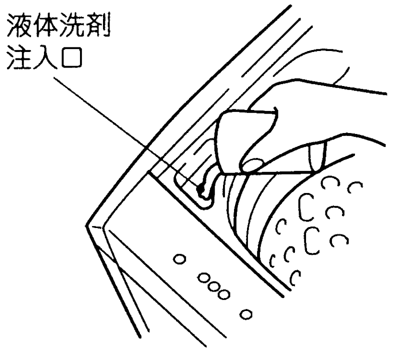
- 洗える量は1.8kg以下です。
- 水量は自動的に「50L」になります。

2 スタートボタンを押す

風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)



3 洗剤を入れふたを閉める



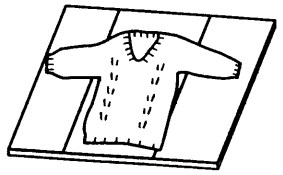
- 洗濯物の絵表示に示されている洗剤をお使いください。
- 液体洗剤は水でうすめて、液体洗剤注入口から静かに入れてください。

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

■洗濯が終わったら

ウールのセーターなどは、形くずれしないように干すのがポイントです。

- 風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。



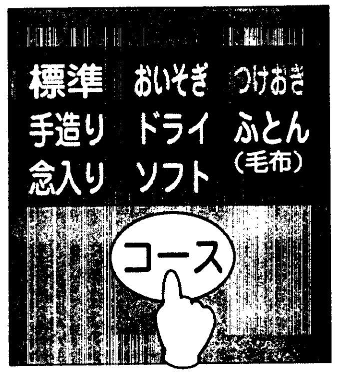
次のものは洗わないでください。

- 絵表示が (ドライ) のみで 手洗イ 表示のないもの。
- 羊毛以外の獣毛素材。(カシミア、アンゴラ、モヘヤなど)
- レース編みなど特殊な編みかたのもの。

じっくり洗う(「つけおき」コース)

約2時間かけて静かに、しっかり、布傷みを少なくていねいに洗い上げます。(コースの内容は☞34)

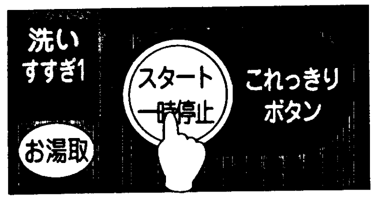
1 電源スイッチを入れ「つけおき」コースを選ぶ



- 「洗い」「すすぎ」の内容は表示されません。
(行程内容☞34)

2 スタートボタンを押す

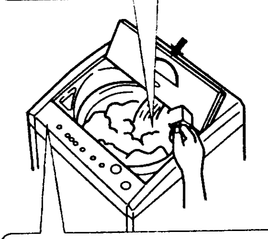
風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)



- 残時間は「99」分になってから表示されます。

3 洗剤を入れふたを閉める

洗剤をよく溶かすために洗剤は、給水の水が落ちる所に入れます。



洗剤量(目安)表示に従って洗剤を入れます。☞15

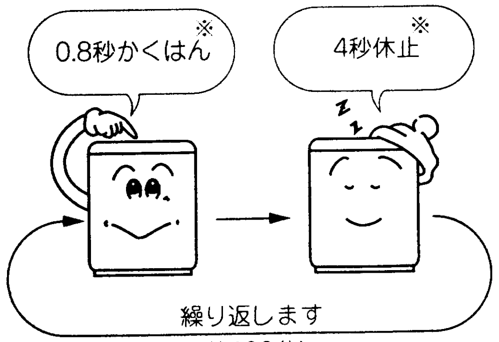
- 衣類のしわ防止のため、脱水は予約運転以外行いません。
- 手動で脱水するときは☞36

あとはブザーが鳴るまでおまかせください!!

■「つけおき」コースって?

やさしい水流のつけおき洗いで、バイオ洗剤の酵素の力をたくみに引き出し、えり、そでなどの汚れをしっかり洗い落とします。

※洗濯物の量によっては、かくはん時間が変わります。

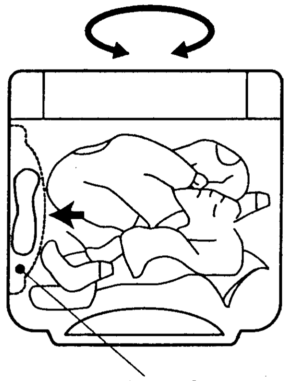


- 色落ちしやすい衣類は洗わないでください。
- 粉石けん(天然油脂)は使用しないでください。
黄ばみや黒ずみになる恐れがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の説明をよくお読みになり、ご使用ください。
衣類への色移り(特にピンク系のもの)やステンレス槽をさびさせるもの(イオウ配合のもの)があります。

押し洗いポケットを使ったお洗濯

押し洗いポケットの取り付けかたは、「押し洗いポケットのお手入れ」（☞ 51）をご覧ください。
押し洗いポケット（PO-K83）は別売り部品です。
デリケートな 手洗イ 、弱 表示の衣類は押し洗いポケットに入れ、一般の衣類と一緒にまとめて洗います。一般の衣類による押し洗い効果で、押し洗いポケット内のデリケートな衣類の型くずれや布傷み、からみ、しわなどを抑えて洗い上げます。

- ●押し洗いポケットに衣類が入ってないときでも通常のお洗濯ができます。
- ●洗濯物がランジェリー類だけの場合は、「ソフト」コースのご使用をお勧めします。☞ 30
- ●「ドライ」コース、「ふとん」コースを使用する場合は、必ず押し洗いポケットを取り外してください。☞ 51



押し洗いポケット

■押し洗いポケットを使うとき

使用できるコースと水位

コース	標準、手造り、念入り、おいそぎ
水　量	53L以上

- ●水量「50L」以下で、押し洗いポケットを使用したお洗濯はできません。
- ●ポケット内の衣類が水に浸らない場合は水量を多くしてご使用ください。☞ 10

洗剤について

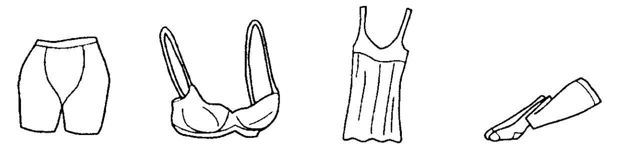
お勧めの洗剤	合成洗剤（粉末、液体）

- ●粉石けんは使用しないでください。
押し洗いポケット内の衣類に石けんかすが残る場合があります。

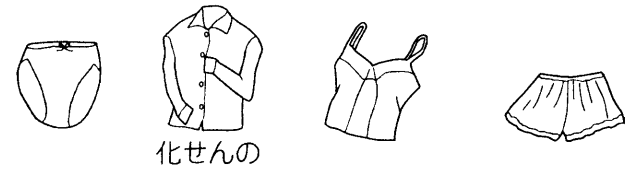
押し洗いポケットに入れる衣類

押し洗いポケットの洗濯容量は200gです。下記を目安にして、衣類を入れてください。

洗えるもの



ガードル（約60g）　ブラジャー（約45g）　化せんのスリップ（約60g）　ストッキング（約15g）

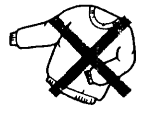


ショーツ（約30g）　化せんのブラウス（約200g）　キャミソール（約45g）　フレアーパンティ（約50g）

など

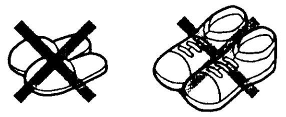
洗えないもの

- ●200g以上のデリケートな衣類（セーター、トレーナーなど）

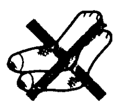


- ●水洗いできない衣類（絹、ウール、レーヨンなど）

- ●スリッパ、シューズなど



- ●汚れのひどい衣類



など

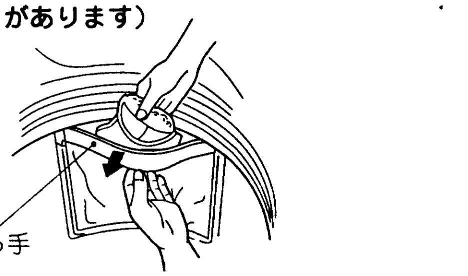
■押し洗いポケットの使いかた

⚠ 注　意

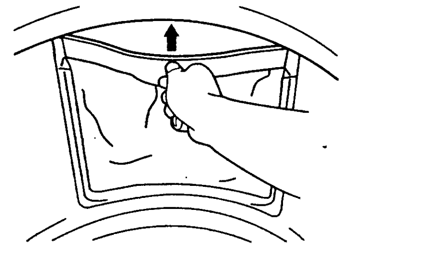
押し洗いポケット（別売り）が確実に取り付けてあるか確認する。（☞ 51）
●取り付けが不十分なままでお洗濯すると、衣類の損傷や押し洗いポケットの破損の原因となります。

開閉のしかた

開けるときは取っ手を手前に水平に引いてください。（取っ手を持って斜めに引き上げると、押し洗いポケットが外れることがあります）



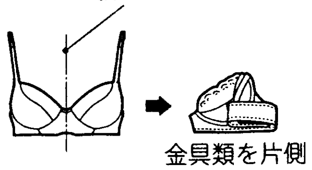
閉めるときは取っ手の中央を押してください。

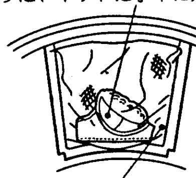


- ●衣類を出し入れしたあとは押し洗いポケット投入口を必ず閉めてください。開けたままにしておくと、取っ手が変形することがあります。
- ●押し洗いポケットは取り付け、取り外し可能です。一度外して取り付けた場合は確実にセットされていることを確認してください。☞ 51
- ●ネットを持って開閉したり、取っ手を無理にひっぱらないでください。

衣類の入れかた

- ●ブラジャーはホックを止め、2つ折りにして、ワイヤーが洗濯槽と平行になるように入れてください。
（ワイヤーの変形を防止するためです）
- ●ブラジャーの金具類がネットに触れないようにしてください。
- ●ブラジャーと他のランジェリー類をいっしょに入れる場合は、ブラジャーを後ろ側に入れてください。
- ●その他の衣類はたたんで入れるとしわや型くずれが防止できます。

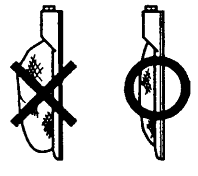




- ●洗濯物の量が多いときは、押し洗いポケット内に衣類を先に入れてください。投入が楽にできます。
- ●ハンカチなどの小物を押し洗いポケットに入れてお洗濯すると、取り出しが楽にできます。

ご注意

- ●洗濯槽内の衣類のファスナーは、必ず閉めて洗濯してください。押し洗いポケットや他の衣類の傷みを防ぐためです。
- ●バスタオルなど特に糸くずの出やすい衣類と一緒にお洗濯すると、押し洗いポケット内の衣類に糸くずが付着することがあります。ごく小さな糸くずがネットの編み目を通過することがあるためです。
（糸くずが付着した場合は手で取り除くか、それでも気になる場合は手でもみ洗いしてください）
- ●押し洗いポケットの洗濯容量以上に衣類を入れないでください。汚れ落ち、仕上がりの低下の原因となります。
- ●衣類や押し洗いポケットには、漂白剤、ソフト仕上剤を直接かけないでください。傷みや変色を防ぐためです。
- ●色落ちする衣類は一緒に洗わないでください。色移りの原因となります。
- ●低い水位で使用し続けた場合、押し洗いポケットの水面付近に石けんかすなどが残る場合があります。
押し洗いポケットを取り外してお手入れをしてください。☞ 51



いろいろなお洗濯

洗濯行程について

各コースの洗濯行程について説明します。
きめ細かな洗濯をするために、ちょっと複雑な洗濯行程内容になっています。
洗濯機が今どの行程をどう動いているか知りたい方への情報です。

(　)内は手動設定できる内容です。

コースの種類	自動設定水量	洗い(約)	すすぎ	脱水(約)	所要時間(約)
標準	59L～24L (9段階自動設定) (62L～24L) (10段階)	12分～6分 (15分､12分､9分､6分､3分)	1回目：排水・脱水 4～7分、回転シャワー給水 40～85秒 2回目：排水・脱水 3分、ためすすぎ 1.5分 (ため1回～注水2回)	9分～4分 (9分､6分､3分､1分)	30分 41分～27分
手造り (　)は記憶させることによりはじめに点灯します。	初期設定 62L (62L～24L) (10段階)	初期設定 12分 (15分､12分､9分､6分､3分)	初期設定 ため2回 (ため1回～注水2回)	初期設定 9分 (9分､6分､3分､1分)	44分 51分～22分
念入り	62L～24L (10段階自動設定) (62L～24L) (10段階)	15分～12分 (15分､12分､9分､6分､3分)	ため2回 (ため1回～注水2回)	9分 (9分､6分､3分､1分)	48分 48分～40分
おいそぎ	56L (62L～24L) (10段階)	3分 (15分､12分､9分､6分､3分)	注水1回 (ため1回～注水2回)	3分 (9分､6分､3分､1分)	20分
ドライ	30L (41L～24L) (4段階)	9分 (変更不可)	ため2回 (変更不可)	1分 (変更不可)	28分
ソフト	50L (62L～24L) (10段階)	9分 (15分､12分､9分､6分､3分)	注水1回 (ため1回～注水2回)	1分 (9分､6分､3分､1分)	21分
つけおき	62L～24L (10段階自動設定) (62L～24L)	110分～103分	ため2回 (変更不可)	予約運転以外は脱水を行いません。予約運転時は、脱水を6分間行います。	129分 135分～127分
ふとん	62L (62L～24L) (10段階)	76分 (変更不可)	注水2回 (変更不可)	6分 (9分､6分､3分､1分)	110分

ちょっと一言

- 所要時間の□内は標準状態の時間です。
- 「標準」､「手造り」､「念入り」と「つけおき」コースの所要時間は、1回の給水時間を約4分(水量15L毎分、最高水位時)とした場合です。
- その他のコースの給水時間は、各コースの自動設定水量まで15L毎分で給水した場合で計算しています。
- 水道水圧が低い場合、および風呂水吸水する場合は、左表の時間より長くなります。
- すすぎ行程では脱水を行い、すすぎ効果をよくします。
- すすぎの時間は、「かくはん」2～3分で計算しています。
- 「つけおき」コースの始めに洗剤を溶かすため、標準水流で3分間かくはんします。
- 「つけおき」コースのとき、予約運転を行う場合は、所要時間がさらに7分追加となります。
- 時間表示は目安のため実際の時間と異なる場合があります。

ご注意

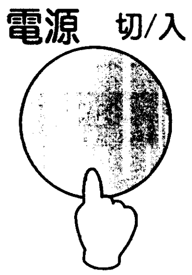
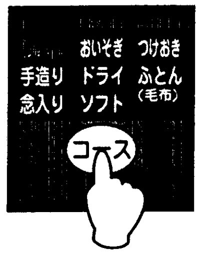
- 水道水圧が高いと給水音が大きくなることがあります。音が気になる場合は水栓を絞ってお使いください。

コースの切り換えについて

スタートボタンを押したあとは、コースの切り換えはできません。
- コースを切り換えるときは、いったん電源スイッチを切ってから行ってください。

お好みで洗濯する

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。（洗濯内容は記憶されません）

こんな場合に	コース	ボタン操作 1 電源スイッチを入れる	2「標準」コースを選ぶ	3 水量を選ぶ	4 お好みのコースを選ぶ	5 お湯取を設定する	6 スタートボタンを押す	運転内容
お好みの内容でお洗濯するとき	洗い→すすぎ→脱水			水量 （水量の設定がないときは、センサーが自動的に決めます。）	洗い → すすぎ → 脱水 →			洗いから脱水までします。
洗濯液を2度使うとき ☞42	洗いのみ				洗い →			洗濯液は残ったまま停止します。
しわが気になる洗濯物を脱水しないとき	洗い→すすぎ				洗い → すすぎ →			すすぎ液は残ったまま停止します。
洗った洗濯物をすすぎたいとき	すすぎのみ			水量 （水量の設定がないときは、「62L」になります。）	すすぎ →			すすぎの前に排水(約2分)、脱水(約2～4分)し、すすぎ液は残ったまま停止します。
洗った洗濯物をすすいで脱水したいとき ☞42	すすぎ→脱水			水量 （水量の設定がないときは、「62L」になります。）	すすぎ → 脱水 →			すすぎの前に排水(約2分)、脱水(約2～4分)をします。
槽の水を排水したいときや、干す前に脱水したいとき	排水のみ、脱水のみ				（排水のみは「1分」を選ぶ） 脱水 → （排水のみの場合は脱水が始まったら電源を「切」にしてください）			排水(約2分)して脱水します。 （排水のみの場合は脱水が始まったら電源を「切」にしてください。）

■「お湯取」設定時の給水について

- お風呂の水をご利用のときは「お湯取」ボタンを押して設定してください。
- 手動による補給水の給水は、「お湯取」設定した場合でも、すべて水道水になります。
- 運転スタート後、洗いまたはすすぎの給水中に一時停止し、「お湯取」の設定内容を変更できます。

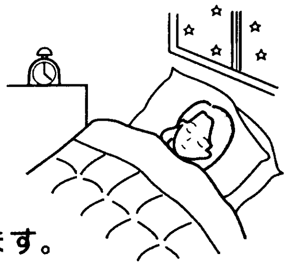
水量	洗い	すすぎ	脱水	お湯取
62L → 59L → 56L → 53L → 50L → 46L → 41L → 36L → 30L → 24L → (62L)	15分 → 12分 → 9分 → 6分 → 3分 → 「洗い」なし → (15分)	2回 → 注水2回 → 1回 → 注水1回 → 「すすぎ」なし → (2回)	9分 → 6分 → 3分 → 1分 → 「脱水」なし → (9分)	洗い → 洗い すすぎ1 → 「お湯取」なし → (洗い)

- ボタンを押すごとに設定がかわります。

ご注意

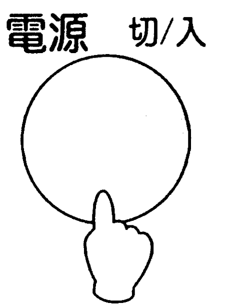
- すすぎで、注水は「注水すすぎ」、表示なしは「ためすすぎ」になります。
- 「すすぎのみ」、「すすぎ→脱水」を選んだ場合、槽内に水がないときは、衣類に含まれている水や洗剤分を出すために、脱水から始まります。脱水後に給水します。（槽内に水があるときは、排水から始まります）

予約タイマーで洗う

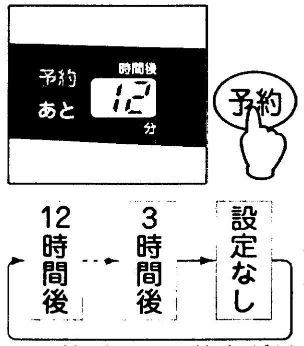


お洗濯の仕上がり時間を12～3時間後の各1時間ごとに予約できます。
出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときなどに便利です。(「ドライ」コース、「ふとん」コースは予約運転できません)
- 「つけおき」コースで予約運転すると、夜中でもより静かにお洗濯できます。

1 電源スイッチを入れ洗濯物を入れる



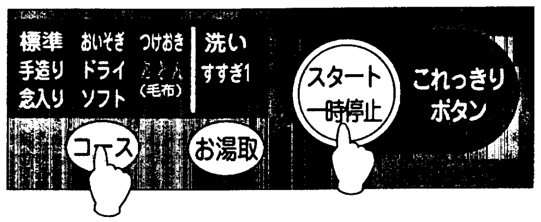
2 仕上がり時間を選ぶ



- 予約ボタンで仕上がり時間を選びます。

3 コースを選び、スタートボタンを押す

風呂水を利用するときは、お湯取を設定後、スタートボタンを押します。(お湯取の設定は次回へ記憶されます)

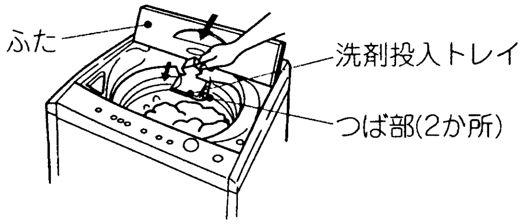


- 予約のランプ以外は消えます。

4 洗剤を入れ、ふたを閉める

洗剤投入トレイのつば部を持って手前に倒し、洗剤を平らに入れます。(トレイは倒したまま)

- 濃縮(粉末)合成洗剤専用です。
- 予約運転が終わったら、必ずトレイを元の位置に戻してください。
- 仕上がり時間に合わせて、運転を開始します。
- 洗剤投入トレイが外れたときは ☞ 49



お願い

- 洗剤投入トレイがぬれていると洗剤がこびりつきますので、乾いた布でふいてください。

- 電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。
- **洗濯物の量や質、給水量により仕上がり時間がずれることがあります。**
- 衣類のしわ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。

- **予約内容を確認したいとき：**予約ボタンを押している間、予約内容および残時間を確認できます。
- **予約タイマー運転を取り消すとき：**電源スイッチを「切」にしてください。
- **給水量が少なく(約10L/分以下)洗剤トレイに洗剤が残るとき：**洗剤を白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように、槽の中央付近に押し込んでください。

洗濯量と洗剤量について

洗濯量	手動設定の水量	洗剤量(目安)表示	コンパクトタイプ 水30Lあたり20g 粉末	コンパクトタイプ 水30Lあたり15g 粉末	コンパクトタイプ 水30Lあたり25mL 液体	従来タイプ・粉石けん(天然油脂) 水30Lあたり40gおよび40mL粉末(液体)
7kg	62L	1.4杯	49g	37g	62mL	99g(99mL)
6	59L	1.3杯	47g	35g	59mL	94g(94mL)
	56L	1.2杯	41g	31g	51mL	82g(82mL)
5	53L	1.1杯	39g	29g	49mL	78g(78mL)
4	50L	1.0杯	36g	28g	46mL	73g(73mL)
	46L	0.9杯	31g	23g	38mL	61g(61mL)
3	41L	0.8杯	27g	21g	34mL	55g(55mL)
2	36L	0.7杯	24g	18g	30mL	48g(48mL)
1	30L	0.6杯	20g	15g	25mL	40g(40mL)
	24L	0.5杯	16g	12g	20mL	32g(32mL)

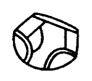
家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

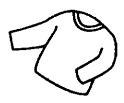
- 洗剤量(目安)表示は、コンパクト粉末洗剤に同梱されているスプーン(水30Lに対し20gあるいは15gタイプの洗剤)を基準にしています。
  コンパクトタイプ以外の洗剤の場合は、上の記載量の洗剤を使用してください。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。
- 洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になったり、泡による弊害が起こる場合があります。

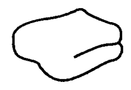
■洗濯量について

- 表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。
- 通常の衣類では洗える量は表示の7～8割が適当です。
  布の動きが止まるようであれば、洗濯物の入れすぎですので、布の動き具合を見て調節してください。

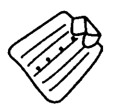
洗濯物の重さの目安

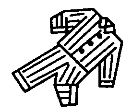

ブリーフ (木綿 約50g)

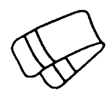

長袖アンダーシャツ (木綿 約150g)

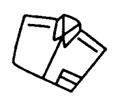

バスタオル (木綿 約300g)

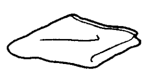
くつ下 (木綿 約50g)


ブラウス (混紡 約200g)


パジャマ(上・下) (木綿 約500g)


タオル (木綿 約70g)


ワイシャツ (混紡 約200g)


シーツ (木綿 約500g)

液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う

液体洗剤・漂白剤の使いかた

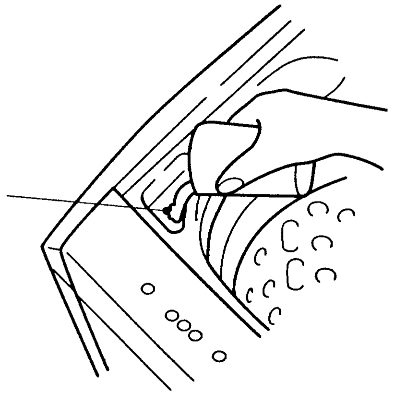
液体洗剤

水でうすめて、注入口から静かに流し込みます。

- 予約運転のときは、2倍にうすめてご使用ください。

漂白剤

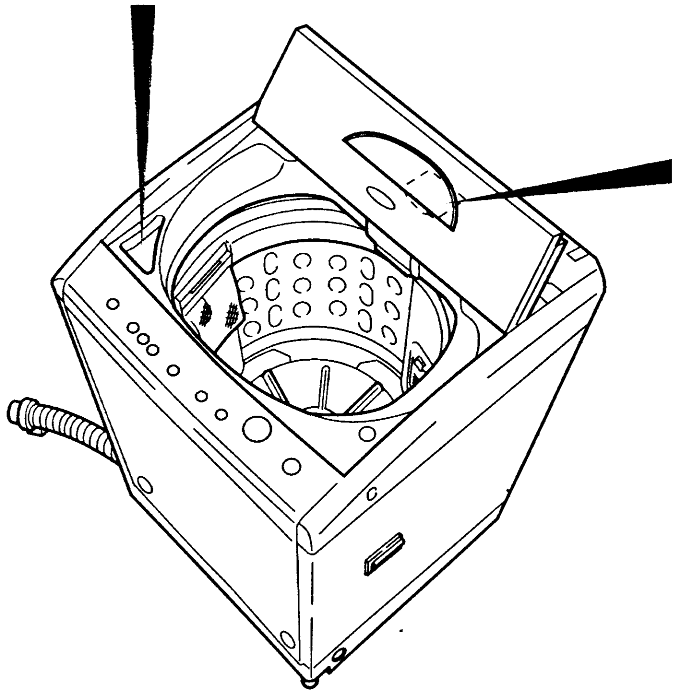
洗い始めに水でうすめて、注入口から静かに流し込みます。



液体洗剤・漂白剤注入口

ご注意

- 使用量および使いかたについては、液体洗剤、漂白剤の表示に従ってください。
- 漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。

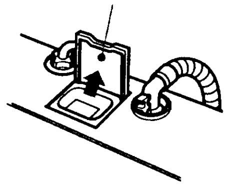


ソフト仕上剤の使いかた

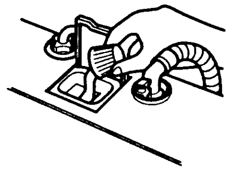
ソフト仕上剤自動投入口は、濃縮タイプ専用です。

1 自動投入口のふたを止まる位置まで完全に開ける。

- 内部のソフナー受けをセットするためです。
- 自動投入口のふたを開けるとき、給水ホース、お湯取ホースに引っ掛からないようにしてください。



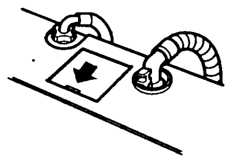
2 電源スイッチを入れお好みのコースを選び、スタートボタンを押す。



3 水量表示に従って、ソフト仕上剤を入れる。

4 自動投入口のふたを閉める。

- ソフト仕上剤は最終すすぎの前に、自動的に投入されます。



〈ソフト仕上剤量の目安〉

水量	24L	30L	36L	41L	46L
ソフト仕上剤量	6mL	7mL	8mL	9mL	10mL

水量	50L	53L	56L	59L	62L
ソフト仕上剤量	11mL	12mL	13mL	13mL	14mL

- 濃縮タイプ：水30Lに6.6mL使用の場合。

ご注意

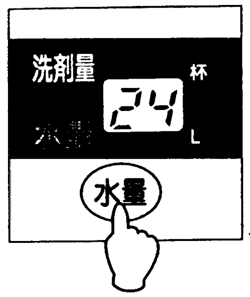
- ソフト仕上剤を入れすぎないでください。流れ出して、洗濯物に直接かかり変色する恐れがあります。
- 洗剤は適量をご使用ください。多すぎると、すすぎ効果・ソフト仕上剤の効果が落ちます。
- 給水中に自動投入口のふたを開けソフト仕上剤を入れると、液があふれることがあります。
- 自動投入口のお手入れは ☞47

粉石けん(天然油脂)を使う

洗濯機で直接溶かす場合

1 電源スイッチを入れ水量を「24L」にセットし、運転を始める。

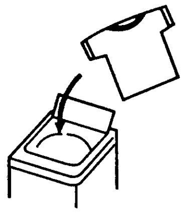
☞36



2 かくはんが始まったら粉石けんを入れ、3分ほど運転する。

3 粉石けんが溶けたら電源スイッチを「切」にして、洗濯物を入れる。

- 洗濯物を十分、洗濯液に浸します。



4 電源スイッチを「入」にして、お望みのコースを選び運転する。

- 水が入っていますので、洗剤量、水量は多めに表示されることがあります。

粉石けんが溶けにくいとき

1 バケツなどに30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する。

2 十分かき回しながら適正量の粉石けんを少しずつ入れる。

- 粉石けんが固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かしたあと、槽に入れます。

ちょっと一言

- **粉石けんを使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。**

ご注意

- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎは十分行ってください。よくすすがないと黄ばみや、においの原因になります。
- 使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりしますと、完全に溶けない石けん分や石けんかすがホースや槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

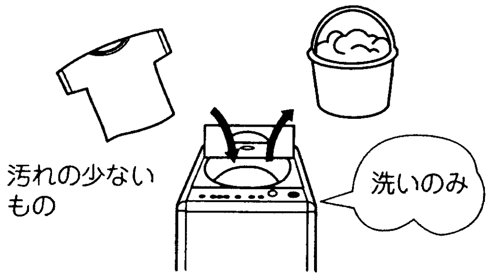
次の場合は粉石けんを使用しないでください。

- **予約運転のとき**
  槽内で固まる恐れがあります。
- **「ふとん」コースや「つけおき」、「ドライ」コースのとき**
  つけおき洗いにより、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。
- **押し洗いポケット(別売り)を使用するとき**
  粉石けんは溶けにくいので、押し洗いポケット内の衣類に石けんかすが残る場合があります。

洗濯液を2度使う・洗濯のりを使う

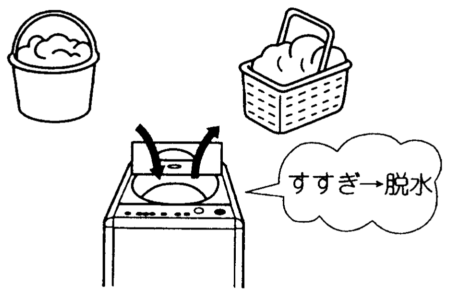
洗濯液を2度使うとき

1 1回目の洗濯物を「洗い」のみ行う。
☞36



2 2回目の洗濯物を入れ、お望みのコースで洗濯する。
- 洗濯物に応じた水量をセットします。

3 1回目に洗った洗濯物を「すすぎ」「脱水」する。☞36
- 洗濯物に応じた水量をセットします。



洗濯のりを使うとき

■洗濯のりについて

化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAC)と表示されているものに限ります。
- 上記以外ののりは、洗濯機の故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。

■洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

■のり付けできる量

3.0kg以下☞39

1 洗濯が終わったら、のり付けしたい衣類を槽に入れる。

2 電源スイッチを入れ、「標準」コースを選ぶ。

3 水量、洗い、すすぎ、脱水をセットする。
☞36

水　量	洗　い	すすぎ	脱水
46L	6分	設定なし	1分

4 スタートボタンを押す。

5 かくはん翼が回転し始めたら洗濯のりを入れ、ふたを閉める。

ご注意
- のり付けした衣類は、乾燥機で乾かさないでください。

のり付けしたあとは

残った洗濯のりを流すため必ず槽洗浄をしてください。

1 「標準」コースを選ぶ。

2 水量、洗い、すすぎ、脱水をセットする。
☞36

水　量	洗　い	すすぎ	脱水
62L	6分	設定なし	1分

3 スタートボタンを押す。

ブザー(メロディ)音を変えたいときは

メロディアラームは、普通の電子ブザーに変えることができます。
また、終了ブザーを消すこともできます。次の手順で行ってください。

ブザー(メロディ)音を変えたいとき

1 電源スイッチを「入」にする。

2 水量ボタンを3秒以上押す。
- メロディアラームに戻す場合には、電源スイッチを「入」にして、水量ボタンを3秒以上押してください。

終了ブザーを消したいとき

1 電源スイッチを「入」にする。

2 スタートボタンを3秒以上押す。
- 終了ブザーありに戻す場合には、電源スイッチを「入」にして、スタートボタンを3秒以上押してください。

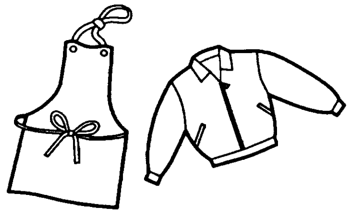
いたずら防止スイッチ

子供をお持ちのお母さんのための気配りスイッチです。

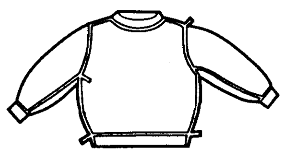
電源スイッチを入れ、「洗い」ボタンを3秒以上押すと、「ch」と表示され、いたずら防止モードになります。洗濯中に上ふたを開けると「洗い」「すすぎ」中のかくはんが停止します。(「E3」エラーを表示します)
- 解除する場合は、もう一度「洗い」ボタンを3秒以上押してください。「- -」と表示され設定は解除されます。解除されるまで設定は記憶されます。
- 標準コースで設定すると、「洗い」のみになります。一度電源を切って入れ直してください。

ひと工夫した洗いかた

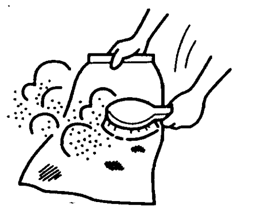
ひもは結んで、ファスナーは閉める



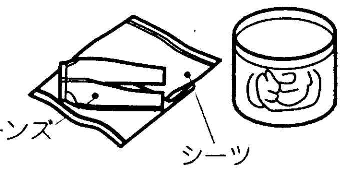
毛玉が気になるときは裏返しにする



どろや砂は必ず取り除く

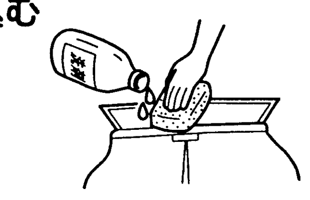


大物や、水に浮きやすいものから先に槽に入れる
- 衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。



- 大物衣類や水に浮きやすいもの(化せんなど)は底に入れてください。布の動きがよくなります。

汚れのひどい所には、あらかじめ洗剤をすり込む



- 「つけおき」コースをご使用になれば、えり、そでなどのひどい汚れもしっかり落とします。

使用上のご注意

お洗濯の前に、衣類の異物は取り除く

● 衣類を傷めたり、故障の原因となります。

脱水中に、はみ出さないために

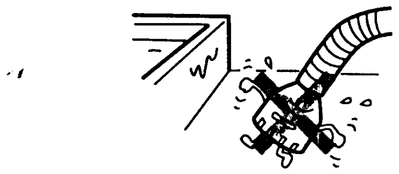
ジーンズなどの厚手のものは、均一によく押し込んで洗濯してください。

● 脱水中にはみ出し損傷する恐れがあります。

鋭利な物でボタンを押さない

● 破損・故障の原因になります。

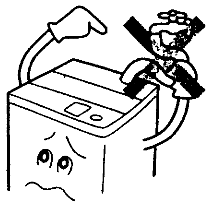
水なし運転(空運転)はしない



● 風呂水ポンプの故障の原因になります。

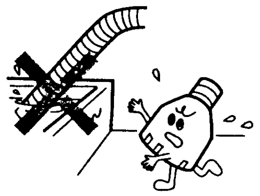
風呂水吸水口に水栓をつながない

お湯取ホース専用です。



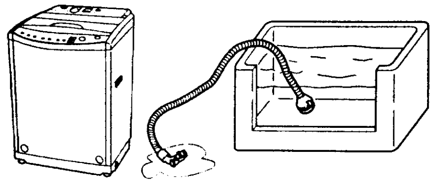
● 水があふれて、感電や故障の原因になります。

クリーンフィルターを外して吸水しない



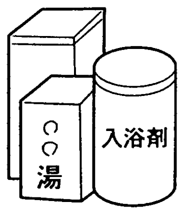
● 風呂水ポンプの故障の原因になります。

風呂水ホースのつぎてを外したあと、浴槽の水位面よりもつぎてを下げない



● 床を濡らすおそれがあります。

入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う



● 色移りや変色を防ぐためです。

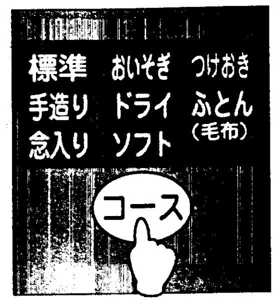
お手入れのしかた

ご使用後は次の手順でお手入れをしてください。

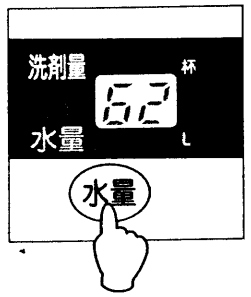
洗濯槽のお手入れ（清潔に洗濯するために）

ステンレス槽は石けんかすやかびがつきにくくなっていますが、長期間のご使用で、石けんかすが発生し衣類を汚すことがあります。
約2か月に一度、次の手順で洗濯槽を洗ってください。
●押し洗いポケット(別売り)を取り付けたまま洗濯槽を洗っても、押し洗いポケットは傷みません。

1 「つけおき」コースを選ぶ。☞ 31

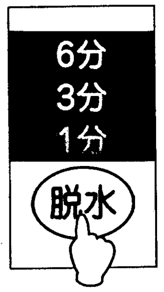


2 水量を「62L」にセットし、スタートボタンを押す。
- 満水になって、かくはんが始まったら水量ボタンを押し続け、給水が止まるまで水を追加してください。



3 市販の酸素系漂白剤250g(約1本)を洗濯槽に入れる。

4 運転が終わったら、脱水のみ「1分」にセットして運転する。
☞ 36



お願い
- 漂白剤は、ご使用の漂白剤の注意書きをよくお読みになってお使いください。
- 約40℃のお湯をご使用になると、さらに洗浄効果が上がります。
- 万一、石けんかすが発生した場合には、別売りの洗濯槽クリーナー(☞ 58)をご使用ください。

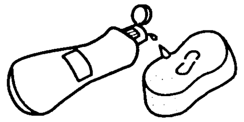
さびにご注意

ステンレス槽は、さびにくい性質を持っていますが、次のような場合には、さびが発生することがあります。

①ヘアピンやピンなどの、さびやすい鉄製品が槽に残り、接触したまま放置したとき。
②赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に入って、赤さびが槽に付着したとき。

さびに気がついたら、市販のクリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。(詳しくは洗剤の表示をご覧ください)

- 金属たわしなどは槽を傷つけ、槽がさびやすくなりますので使用しないでください。



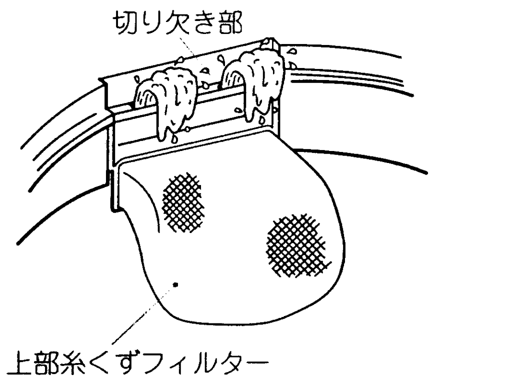
さびの発生を防ぐために、次のことをお守りください。

- 長期間、槽に水を入れたままにしないでください。
- 塩素系の漂白剤を槽に入れたまま、長期間放置しないでください。

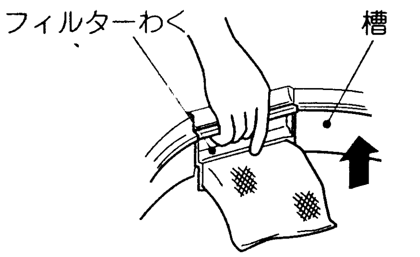
お手入れのしかた（続き）

上部糸くずフィルターのお手入れ（毎回のお洗濯ごとに必ず行ってください。）

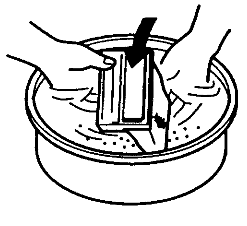
上部糸くずフィルターの切り欠き部からの水あふれで、フィルターの目詰まりをお知らせします。



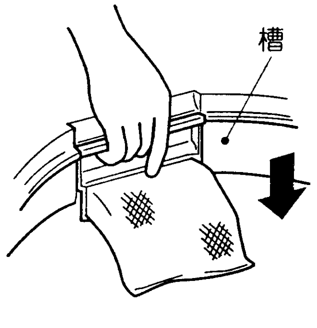
1 フィルターわくを外す。



2 フィルターのネットを裏返して、糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす。



3 フィルターわくを確実に差し込む。

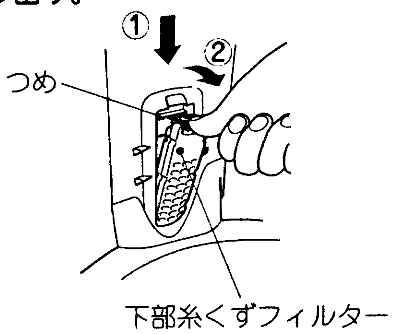


お願い

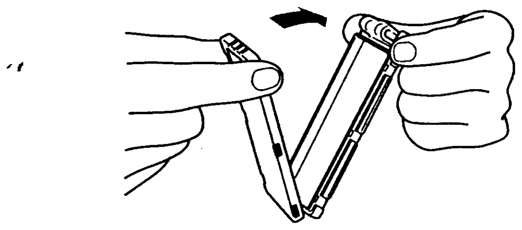
- 上部糸くずフィルターは消耗品です。
  ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。（部品番号NW-7S2-025）☞58

下部糸くずフィルターのお手入れ（毎回のお洗濯ごとに必ず行ってください。）

1 つめを押したまま手前に倒し、フィルターを取り出す。

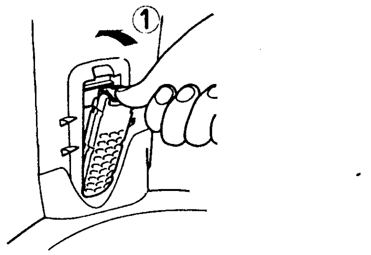


2 フィルターを開いて糸くずを取り除く。



3 フィルターを閉じる。

4 下部糸くずフィルターを槽に取り付ける。



ご注意

- 下部糸くずフィルターを取り出したとき、槽のくぼみにヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
- 下部糸くずフィルターを外した状態でお洗濯をしないでください。衣類を傷つける恐れがあります。

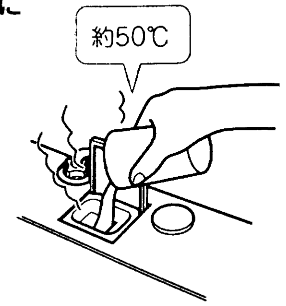
お願い

- 下部糸くずフィルターは消耗品です。
  紛失または破損したときは、販売店でお買い求めください。（部品番号NW-7P5-010）☞58

ソフト仕上剤自動投入口のお手入れ（濃縮タイプ専用）

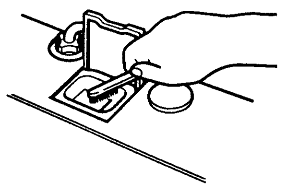
ソフト仕上剤自動投入口の内部にソフト仕上剤が付着し、汚れがひどいときに

1 50℃程度のお湯をソフト仕上剤自動投入口から入れ、5～10分間放置する。

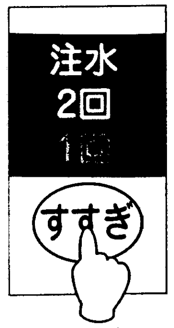


2 歯ブラシなどで内部を掃除する。

- 指での掃除はしないでください。



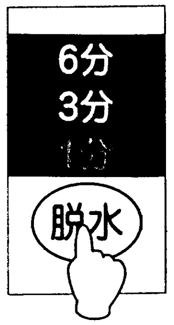
3 電源スイッチを入れ「すすぎ」のみ1回をセットし、スタートボタンを押す。
☞36
排水→脱水運転後、約30秒給水させ、電源スイッチを「切」にする。



- すすぎの給水と同時にソフト仕上剤自動投入装置が働いて、内部にたまったお湯を流し出します。

4 電源スイッチを入れ脱水のみ「1分」をセットして運転する。
☞36

- 排水・脱水を行います。



ご注意

- ホースなどにより、注水しながらの清掃は行わないでください。
  水があふれ床面をぬらすことがあります。

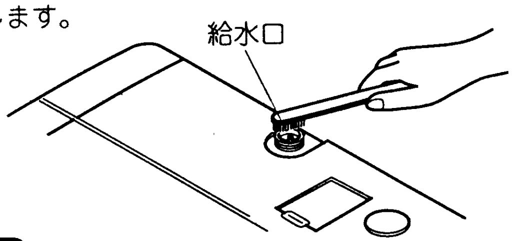
給水口のお手入れ

ごみがたまると水の出が悪くなります。

1 水栓を閉じて、給水ホースを外す。
（外しかたは☞53）

2 給水口の網にたまったごみを、取り除く。

- ごみが取れにくいときは、網を外して掃除します。

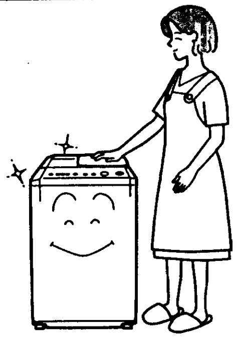


ご注意

- 外した網は必ず元に戻してください。戻さないと給水弁の故障の原因になります。

本体のお手入れ

本体やパネル部の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。



⚠ 警 告

禁止

お手入れするときなどでは、本体各部に直接水をかけない。

- ショート・感電の原因となります。

ご注意

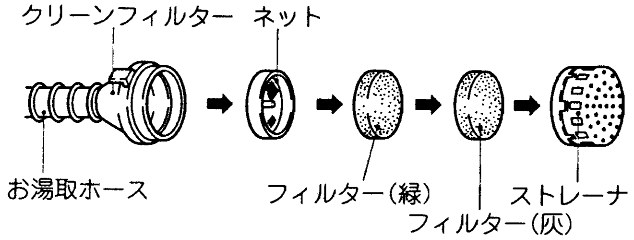
- ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、注意書きに従ってください。
- 洗濯機のふたなどのプラスチック部分に洗剤がついたときは、すぐにふきとってください。
  放置すると傷むことがあります。

お手入れのしかた（続き）

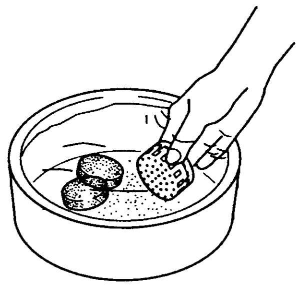
クリーンフィルターのお手入れ

クリーンフィルターおよびフィルターなどにごみが詰まったまま使用すると、風呂水ポンプの吸水性能が下がり、風呂水の出かたが悪くなります。

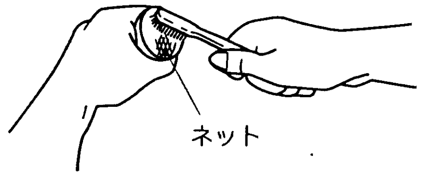
1 クリーンフィルターからストレーナとフィルターとネットを外す。
- ストレーナを回しながらひっぱると外れます。



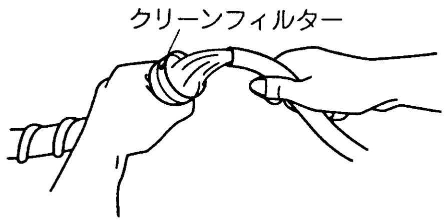
2 ストレーナとフィルターを掃除する。
- ストレーナ、フィルターに付いたごみを水中で洗い落とします。



3 ネットを掃除する。
- ネットに付着しているごみを、歯ブラシなどで掃除します。

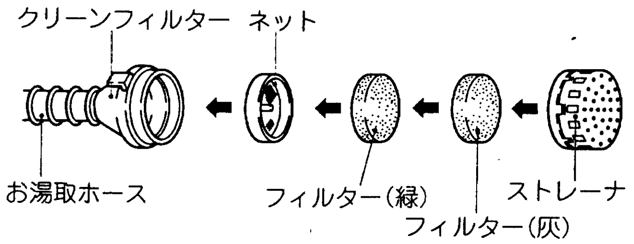


4 お湯取ホースの中を掃除する。
- クリーンフィルターから強い水流で水道水を流し込み、ホースの中のごみを洗い流してください。



5 元どおり取り付ける。
- ネットとフィルターをクリーンフィルターに入れてから、ストレーナを取り付けます。

ご注意
- ネット、フィルターおよびストレーナは、必ず取り付けてご使用ください。取り付けないと、風呂水ポンプの故障の原因になります。



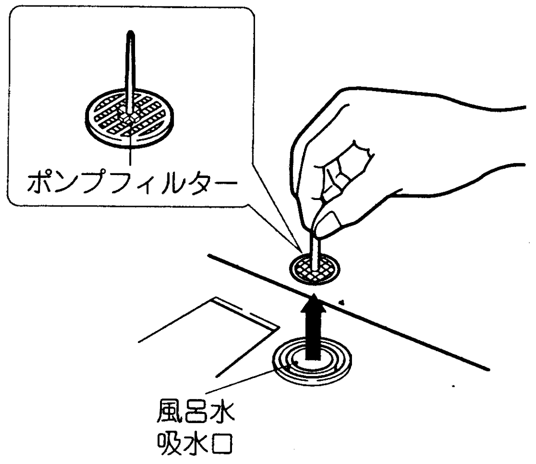
お願い
- 長期間ご使用にならないときは、お湯取ホースの水をよく抜いておいてください。
冬期にお湯取ホースが凍結すると、ひび割れが生じ、吸水できない場合があります。
- ネット、フィルターは消耗品です。
フィルターを紛失または破損したときは、販売店でお買い求めください。☞58
（フィルター（緑）（灰）セット　部品番号 NW-8S3-041）
（ネット　部品番号 NW-7S-057）
- お湯取ホースがつぶれたり、破損した場合は、販売店でお買い求めください。☞58
（お湯取ホース（約5m）部品番号 NW-9S3-029）
（お湯取ホース（約7m）部品番号 NW-9S3-028）

風呂水吸水口のお手入れ

ポンプフィルターにごみが詰まったまま使用すると風呂水ポンプの吸水性能が下がり、風呂水の出かたが悪くなります。

1 風呂水吸水口からお湯取ホースを外す。（外しかたは☞54）

2 風呂水吸水口の中からポンプフィルターを取り出す。
- ポンプフィルター中央部の突起をつまみながら引き上げてください。



- 指でつまめない場合は、ペンチなどでつまみながら引き上げてください。

3 ポンプフィルターに付いたごみを洗い流す。

4 元どおり取り付ける。

ご注意
- ポンプフィルターは必ず取り付けてください。取り付けないと風呂水ポンプの故障の原因になります。

お願い
- ポンプフィルターを紛失または破損したときは販売店でお買い求めください。
（部品番号 NW-7S-052）☞58

洗剤投入トレイのお手入れ

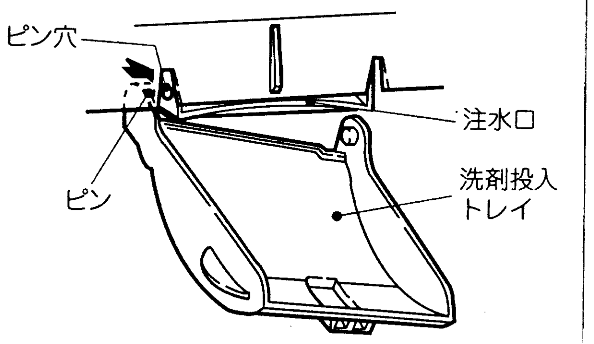
洗剤投入トレイに洗剤がこびりついたときは、トレイを開いて柔らかい布でふき取ってください。
- こびりつきがひどいときは、ホースで水をかけながら、布でふき取ってください。

ご注意
- 開いた状態で無理な力を加えないでください。外れる恐れがあります。

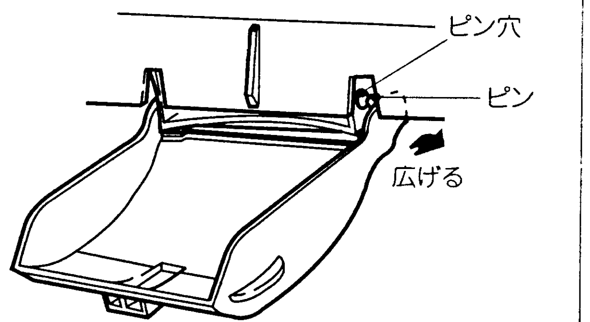
洗剤投入トレイが外れたときは

次の手順で取り付け直してください。

1 洗剤投入トレイの左側のピンを注水口のピン穴に差し込む。



2 右側のピン部を広げながら、ピンをピン穴に差し込む。

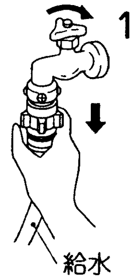


お願い
- 洗剤投入トレイを使用しないときは、必ず元の位置（閉じた状態）に戻しておいてください。

お手入れのしかた(続き)

凍結の恐れのあるとき

1 水栓を閉じて、給水ホースを外す。(外しかたは ☞ 53)



2 給水ホースをたるまないように、下に向ける。

3 30秒ぐらい運転して止める。
- 給水ホース内の残水を抜きます。

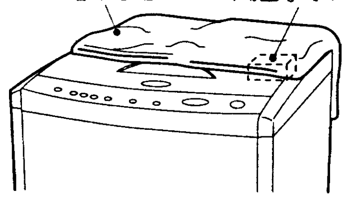
4 浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す。(吸水つぎての外しかたは ☞ 54)

5 排水ホースを倒す。

6「脱水」のみをセットして、30秒ぐらい運転する。☞ 36

7 電源スイッチを「切」にする。
- 槽と排水ホース内の水を抜き、排水バルブを開いたままにするためです。

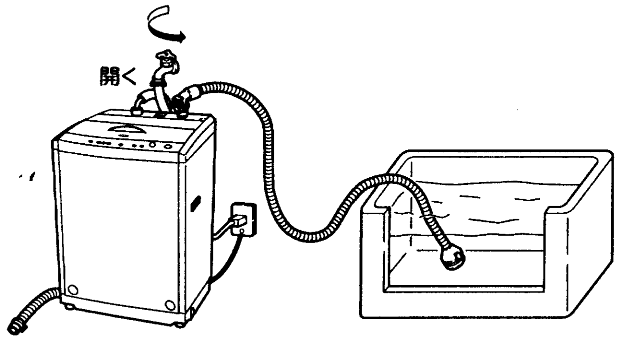
この洗濯機は、呼び水式風呂水ポンプを使用しています。このため、風呂水ポンプの内部には、常に水が残っています。寒冷地でのご使用など凍結の恐れのある場合は、洗濯機の後ろ側(上部)を毛布などで保温してください。



もし凍結したときには

1 給水ホースを外し、約40℃程度のお湯につける。
- お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 約40℃程度のお湯を、槽に2～3L入れ約10分間放置する。



3 給水ホースをおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓を開ける。

4 電源スイッチを入れ、スタートボタンを押し、放置する。

通電時の熱で給水弁が解凍され、給水しはじめます。(約20分程度)

5 次の3点を確認する。

①手でパルセーターを回せるかどうか
・回せればOK

②電源スイッチを入れ「排水のみ」☞36をスタートし、排水するかどうか
・排水すればOK

③風呂水が吸水されるかどうか
・吸水されればOK

風呂水ポンプの解凍には、時間がかかる場合あります。吸水できないまま運転した場合は、自動的に水道水に切り替わります。

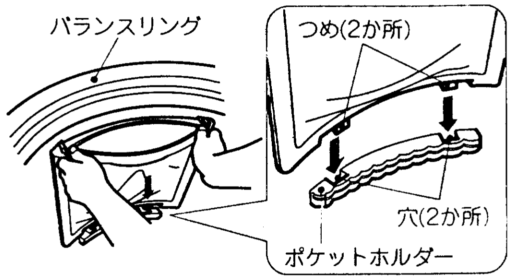
※確認できない場合は、2～4を繰り返してください。

押し洗いポケットのお手入れ(取り付けかた・外しかた)

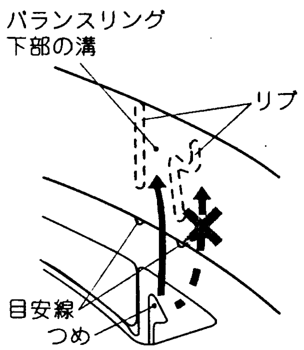
押し洗いポケット(PO-K83)は別売り部品です。☞ 58

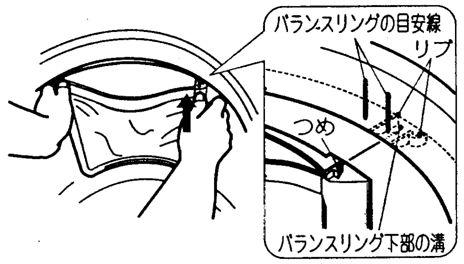
1 押し洗いポケットを取り付ける。

①押し洗いポケットの投入口を開け、下側のつめをポケットホルダーのつめ挿入部の膜に押しあて、ポケットホルダーのつめ挿入部に入れる。(膜は最初のみ)



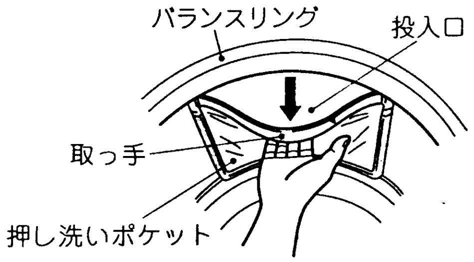
②押し洗いポケットの上側のつめをバランスリングの目安線の間に合わせて、片側ずつバランスリング下部の溝に押し込む。
- このとき押し洗いポケットのつめがリブの外側に入らないように注意してください。



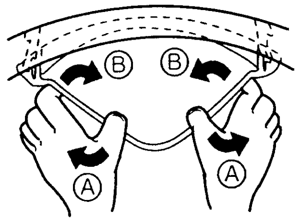


2 押し洗いポケットを取り外す。

①押し洗いポケットの取っ手を引き、投入口を開ける。



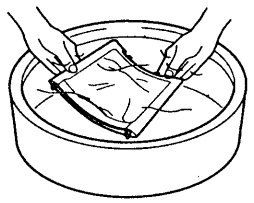
②取っ手の両端を人差し指と親指の間ではさむようにつまんで、手首をねじるように、親指をⒶ方向、人差し指をⒷ方向へと同時に動かしながら外してください。



3 異物や汚れを取り除く。

通常のお手入れ

定期的(月1回程度)に、押し洗いポケットを外し、押し洗いポケットと洗濯槽をお手入れしてください。押し洗いポケットはブラシなどを用い、洗剤で洗い流してください。



汚れが簡単に落とせない場合

水を入れたタライなどに規定濃度の2～3倍の漂白剤を投入し、押し洗いポケット全体を3～4時間浸漬させたあと、ブラシなどで汚れを洗い流してください。頑固な汚れに対しては、塩素系漂白剤の方がよく落とすことができます。

ご注意
- 洗濯槽内では絶対に行わないでください。
- お手入れをしたあとは、水で十分すすいでから洗濯機にセットしてください。
- 手が荒れないようゴム手袋をするとともに、換気をよくして作業してください。(洗剤、漂白剤に記載されている注意書きに従ってご使用ください)

ご注意
- 押し洗いポケットは分解できません。無理に分解すると破損する恐れがあります。
- 洗濯機が屋内にある場合、洗濯機内に湿気がこもらないように、未使用時はふたを開けてください。(洗剤の残りかすに付く雑菌の繁殖やかびの発生を防止します)

据え付け

洗濯機の据え付けは、必ずお買い上げの販売店、または専門工事店にご依頼ください。
詳しくは「据付説明書」をお読みください。

⚠警 告

アース接続

アース線は必ず取り付ける。

- アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠注 意

水もれ

洗濯前は必ず水道栓を開いて、水漏れがないか確認する。

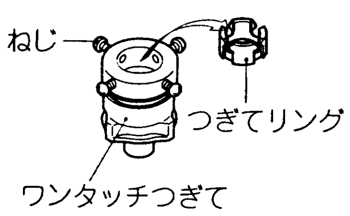
- ねじがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

ワンタッチつぎての取り付けかた

ワンタッチつぎての取り付け

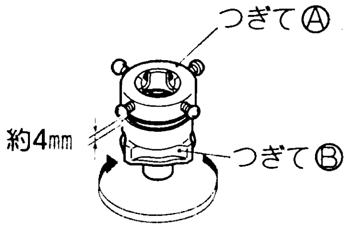
1 水栓の直径を確認する。

- 直径が2cm以上のときは、つぎてリングを外します。

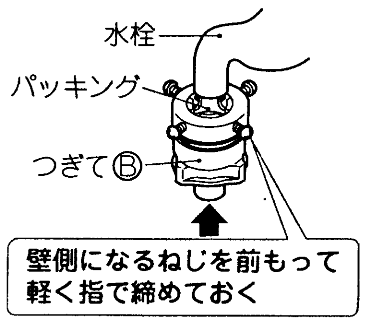


2 つぎてⒶ、Ⓑとのすき間(約4mm)を確認する。

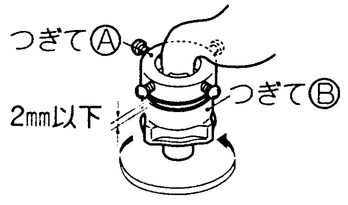
- つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。



3 パッキングを水栓にまっすぐ押し付け、4本のねじを均等に締める。



4 つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を約2mm以下にする。



ご注意

- ワンタッチつぎてを必ず使用し、つぎてⒷをしっかり締める。(水漏れの原因になります)

- 給水ホースの取り付けは ☞ 53
- 長期間のご使用で、ねじやつぎてⒶ、Ⓑが緩んだりすると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。2～4の手順により取り付け直してください。
- ねじやつぎてⒶ、Ⓑをさらに締めつけたり、付け直しても不具合なときはワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。
- [illegible]ときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください

給水ホースの取り付けかた・外しかた

水 栓

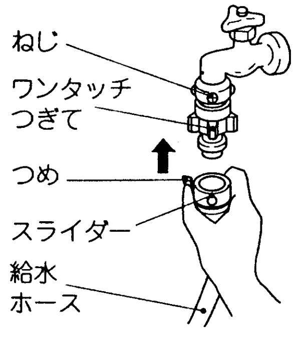
水栓およびワンタッチつぎて・スライダーは、本体に触れないように取り付けます。

■取り付けかた

1 スライダーを押し下げ、ワンタッチつぎてに差し込む。

2 スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる。

- 給水ホースをひっぱり、簡単に抜けないことを確認します。



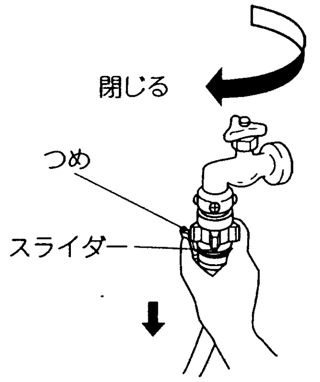
■外しかた

1 水栓を閉じる。

2 スタートボタンを押して約10秒間運転する。

- 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す。



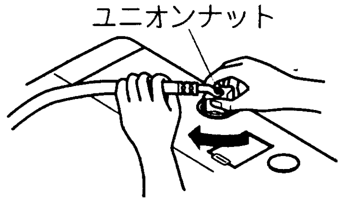
本 体

ユニオンナットを矢印方向に回して、給水口にしっかり締めつけます。

⚠注 意

給水ホースの本体接続のナットはしっかり締めつける。

- 水漏れの原因になります。



- ユニオンナットの締めつけが十分でないと、水漏れします。
- 外すときは、ユニオンナットをゆるめて外します。
- 長期のご使用でねじ、ワンタッチつぎてやユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
- ねじやワンタッチつぎてをさらに締めつけたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。

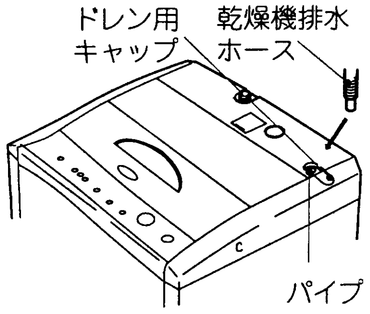
除湿形乾燥機と組み合わせるとき

1 ドレン用キャップを開ける。(洗濯機の右側後部)

2 内部のパイプに乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む。

3 乾燥機の排水ホースをひっぱってみて、簡単に抜けないことを確認する。

- 水栓や風呂水ポンプにつながないでください。
- 乾燥機運転時には、必ず洗濯機の排水ホースを倒してご使用ください。

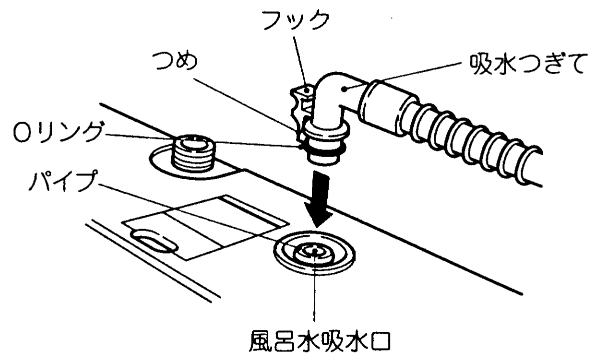


据え付け（続き）

お湯取ホースの取り付けかた・外しかた

ご使用になる前に必ずお湯取ホースにクリーンフィルターを取り付けてください。☞据付説明書

■取り付けかた



1 風呂水吸水口キャップを外す。

2 お湯取ホースの吸水つぎてを風呂水吸水口のパイプに確実に差し込む。
- 吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。

ご注意
- 吸水つぎてには、Oリングが付いています。Oリングを外したり傷つけないでください。外すと空気が入り込み、吸水できなくなります。

■外しかた

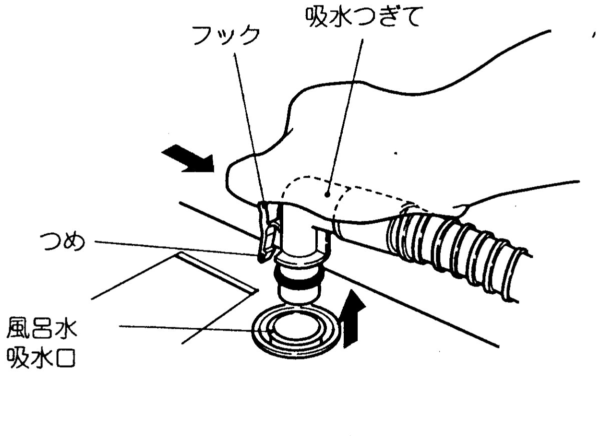
1 水栓を閉じる。

2 浴槽からクリーンフィルター（お湯取ホース）を取り出す。

3 お湯取を設定しスタートボタンを押して、風呂水ポンプを運転させる。
- ホース内の残水を吸い上げるためです。

4 風呂水ポンプから水が出なくなったら、電源スイッチを「切」にする。

5 吸水つぎてを取り外す。
- 吸水つぎてのフックを指で押し、つめを外してゆっくり持ち上げます。外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

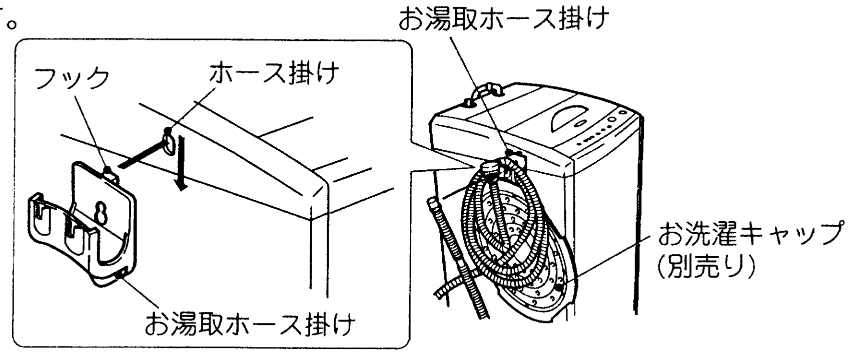


お湯取ホース掛けの使いかた（お洗濯キャップの保管例）

付属のお湯取ホース掛けを使うと、お湯取ホース、お洗濯キャップを簡単に収納できます。

■お湯取ホース掛けのセットのしかた

- お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて止まるまで押し下げてください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください。

- 異常報知：次のようなときは、表示の点滅やブザーで異常をお知らせします。

症　状	表示の点滅	点検するところ	運転を再開するとき
運　転しない		● ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	● 電源を確認してください。 ● 電源プラグをしっかり差し込んでください。
給　水しない	E1 （25分たっても満水にならない場合）	● 水栓が閉じていませんか。 ● 水道が凍結したり断水していませんか。 ● 給水口の網にごみがたまっていませんか。	● スタートボタンを押して、異常の原因を取り除き、スタートボタンを押します。
排　水しない	E2 （5分たっても排水が終わらない場合）	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか。 ● 排水ホースに砂やどろなどが詰まっていませんか。 ● 内部の排水ホースが凍結していませんか。	
脱　水しない	E3	● いたずら防止モードを設定していませんか。☞43 ● ふたが開いていませんか。	● ふたを閉じてください。
	E4	● 洗濯物が片寄っていませんか。	● 洗濯物の片寄りを直し、ふたを閉じてください。
風呂水を正しく吸水しない （異常報知をしても、自動的に水道水に切り換わり、運転は継続されます。）	E6 （10分たっても規定水位に達しないとき）	● お湯取ホース先端のクリーンフィルターにごみが詰まっていませんか。 ● 風呂水吸水口のポンプフィルターにごみが詰まっていませんか。 ● 風呂水ホースに余分なたるみなどの抵抗となる個所がありませんか。	● フィルターを清掃してください。☞48 ● 余分なたるみなどを取り除いてください。☞据付説明書
	EP （3分間連続して空運転したとき）	● お湯取ホースがセットされていますか。 ● お湯取ホースのクリーンフィルターが浴槽の中に入っていますか。 ● 浴槽の中に残り湯はありますか。 ● お湯取ホースに亀裂・ひび割れがありませんか。	● お湯取ホースをセットしてください。 ● 浴槽の中に入れてください。 ● お湯取ホースを交換してください。☞48、58

- 「F0」「F9」「FP」などの異常報知がある場合は、使用を中止して修理を依頼してください。

故障かなと思ったら（続き）

こんなときは故障ではありません

症　状	原　因
「お湯取」ボタンを押すと、始めに水道水から給水される。	● 風呂水ポンプに呼び水をするためです。
「お湯取」ボタンを押してもすぐに風呂水を吸水しない。	● お湯取ホース内の空気を抜き風呂水を吸い上げるのに約1～3分間かかります。
「お湯取」ボタンを押しても風呂水を吸水しない。	● クリーンフィルター(お湯取ホース先端)およびポンプフィルター(風呂水吸水口)にごみが詰まっている場合があります。➡「お手入れのしかた」をご覧になり、ごみを取り除いてください。
初めて使用するとき、排水ホースから水が出る。	● 工場の性能テスト時の残水です。
給水ホースをセットして、水栓を開くと水栓から少量の水が出る。	● ウォーターハンマー低減弁を使用しているため、弁の閉止に時間がかかるためです。
洗濯の残時間が増えたり減ったりする。	● 給水の状態によって残時間を修正します。
洗濯の途中で給水する。	● 洗濯中に水位が下がると、自動的に水が補給されます。
予約運転時、仕上がり時間を過ぎているのに、運転が終わらない。	● 給水量が少ない場合は、仕上がり時間を超えて運転することがあります。
すすぎの前の脱水時に、脱水が止まって給水する。	● 洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。(安全スイッチは、洗濯機が正常な場合でも脱水20回に1回程度は働くことがあります) 次のすすぎは、自動的に注水すすぎに変わります。
最後の脱水時に、脱水が止まり、表示がすすぎになって給水する。	● 洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。(安全スイッチは、洗濯機が正常な場合でも脱水20回に1回程度は働くことがあります) 給水・かくはん運転を行い、布の片寄りをほぐしたあと、再度脱水します。
間欠的に脱水する。	● 脱水を効果的に行うためや回転センサーにより脱水回転数を制御しているためです。
槽を手で動かすと、「シャワシャワ」という音がする。	● 脱水時の振動を低減するための流体バランサーの水の音です。
「標準」コースで運転したとき回転シャワーすすぎを行わない。(ためまたは注水すすぎに変わる)	● 洗濯物が片寄って安全スイッチが働いたためです。
上部糸くずフィルターから、水が流れ出ない。	● 「ソフト」コースで運転している場合は、かくはん翼(からまんパル)の回転数が下がりますので、上部糸くずフィルターから水が流れ出ません。 水量が「41L」以下の場合も上記と同様です。
バケツなどで給水しても、排水されてしまう。	● 排水や脱水の途中で電源スイッチが切られると、排水バルブが閉じません。➡電源スイッチを「入」にしてから、水を入れてください。

電源オートオフ

1. 運転が終了すると電源スイッチは自動的に「切」になります。
2. 次の状態で1時間以上放置されると、電源スイッチは自動的に「切」になります。
   ①一時停止の状態　②ふたを開けたままの状態　③55ページのような異常報知状態
3. 電源スイッチを入れて、スタートボタンを押さないで、5分放置したときは電源スイッチは自動的に「切」になります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ､販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

洗濯機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

55～56ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	全自動電気洗濯機
形　名	NW-70Z
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（クラッチ、ベルト、プーリー、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

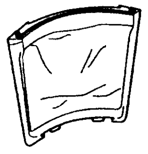
★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？		ご使用中止	
	● 脱水槽が止まりにくい。 ● 水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて) ● 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ● 本体に触るとビリビリ電気を感じる。 ● 据え付けが傾いたりグラグラしている。 ● スイッチを入れても､動かないときがある。 ● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● その他、異常・故障がある。		このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

別売り部品

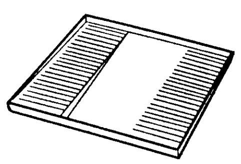
日立の家電品取扱店でお求めください。
価格には消費税は含まれておりません。（価格は平成10年8月現在）

■押し洗いポケット
（PO-K83）（1個）

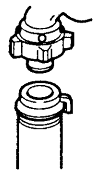


標準価格 1,200円(税別)

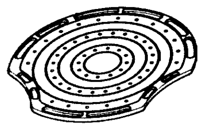
■洗濯機用トレー
（YT-1）
標準価格 7,000円(税別)



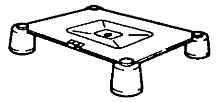
■付属ホースつぎて
（部品番号 PF-4100-630）
- 洗濯機専用の水栓がないとき、ワンタッチつぎてに市販のビニールホースを取り付け、庭に散水するときなどに使います。
標準価格 600円(税別)



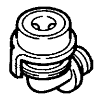
■お洗濯キャップ
（MO-F85）
標準価格 1,200円(税別)



■全自動専用設置台
（UP-D2）
- 洗濯機が防水パンの中に据え付けられないときに、洗濯機の脚を防水パンから外に出して、据え付けるときに使います。
標準価格 5,000円(税別)



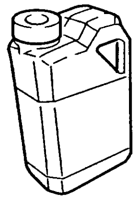
■L形給水つぎて
（部品番号 PF-4100-029）
- 給水ホースが急に折れ曲がるような洗面台など、狭い所で使用するときに使います。標準価格 390円(税別)



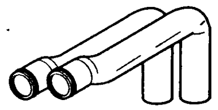
■排水ホース(約80cm)
（部品番号 KW-50K1-023）
- 排水ホースの延長に利用できます。
標準価格 800円(税別)

■上部糸くずフィルター
（部品番号 NW-7S2-025）
標準価格 500円(税別)

■洗濯槽クリーナー
（部品番号 KW-S452-071）
- 洗濯槽に付着した石けんかすなどを落とすときに使います。
標準価格 2,000円(税別)

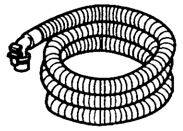


■直下排水L形パイプ
（HO-P5）
標準価格 1,000円(税別)



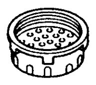
■下部糸くずフィルター
（部品番号 NW-7P5-010）
標準価格 500円(税別)

■お湯取ホース(約7m)
（部品番号NW-9S3-028）
標準価格 1,800円(税別)
- クリーンフィルターは付いていません。

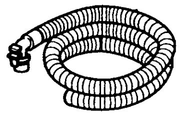


■ネット
（クリーンフィルター用）
（部品番号 NW-7S-057）
標準価格 300円(税別)

■ストレーナ
（部品番号NW-60RS1-048）
標準価格 300円(税別)

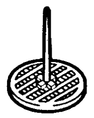


■お湯取ホース(約5m)
（部品番号NW-9S3-029）
標準価格 1,300円(税別)
- クリーンフィルターは付いていません。



■フィルター(灰)(緑) セット
（クリーンフィルター用）
（部品番号NW-8S3-041）
標準価格 300円(税別)

■ポンプフィルター
（部品番号 NW-7S-052）
標準価格 300円(税別)



- 上記の標準価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

本体

種類	全自動電気洗濯機	消費電力	400/475W（50/60Hz）
電源	100V、50/60Hz共用	洗濯方式	うず巻式
標準洗濯容量	7.0kg	水道水圧	0.03～0.8MPa（0.3～8kgf/cm²）
標準脱水容量		外形寸法	幅612mm×奥行571mm ×高さ945mm
標準水量	59L（「標準」コース）		
標準使用水量	115L（「標準」コース）	質量	40kg

ポンプ(本体に内蔵)

定格消費電力	40/40W（50/60Hz）	揚水量 14L/分（全揚程 1.2m ホース5mのとき）	お湯取ホース内径 15mm（市販のホースは使えません）
定格電圧	DC100V		
定格電流	DC0.4A		

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　電話（　　）　-

ご購入年月日　平成　　年　　月　　日